

【施策01】 地域コミュニティ・学び

◆展開方向01：地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進

◆展開方向02：まちの魅力を高める文化芸術活動の推進

◆展開方向03：歴史遺産の継承と学びの充実

◆展開方向04：スポーツに親しむ機会の充実

展開方向01	1 コミュニティ助成事業費	10
	2 車座集会事業費	11
	3 みんなの尼崎大学事業費	12
	4 市民運動推進事業費	13
	5 市民活動情報発信事業費	14
	6 あまがさきチャレンジまちづくり事業費	15
	7 あまがさき市民まつり事業補助金	16
	8 尼崎市社会福祉協議会補助金(債務負担分を含む。)	17
	9 地域資源情報公開システム事業費	18
	10 特定非営利活動促進事業費	19
	11 中央地区学びと活動推進事業費	20
	12 小田地区学びと活動推進事業費	21
	13 大庄地区学びと活動推進事業費	22
	14 立花地区学びと活動推進事業費	23
	15 武庫地区学びと活動推進事業費	24
	16 園田地区学びと活動推進事業費	25
	17 学社連携推進事業費	26
	18 成人教育事業費	27
	19 PTA連合会等補助金	28
	20 図書館行事事業費	29
	21 障がい者等サービス事業費	30
	22 図書等購入事業費	31
	23 図書館サービス網関係事業費	32
	24 図書館資料整理事業費	33
展開方向02	25 国際交流事業補助金	34
	26 尼崎市文化振興財団補助金等	35
	27 郷土画家「白髪一雄」発信プロジェクト事業費	36
	28 文化団体体育成補助金	37
	29 若者の夢創造・発信事業費	38
	30 まちの魅力発信事業費	39
展開方向03	31 歴史的公文書等管理・公開事業費	40
	32 文化財保護啓発事業費	41
	33 歴史博物館資料保存事業費	42
	34 歴史博物館展示事業費	43
	35 歴史博物館教育普及事業費	44
	36 あまがさきアーカイブズ推進事業費	45
	37 歴史的公文書等管理・公開事業費	46
	38 MLA連携推進事業費	47
	39 田能資料館展示事業費	48
	40 田能資料館教育普及事業費	49
展開方向04	41 「スポーツのまち尼崎」促進事業費	50
	42 ふれあいスポーツ推進事業費	51
	43 生涯スポーツ・レクリエーション事業費	52
	44 市民スポーツ振興事業費	53
	45 スポーツ大会事業費	54

46 学校開放事業費	55
47 体育協会等補助金	56

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名		コミュニティ助成事業費		1E1D	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令		コミュニティ助成事業実施要綱			展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進	
事業分類		補助金・助成金	事業開始年度	—			
会計		01 一般会計					
款		10 総務費					
項		05 総務管理費					
目		61 市民活動推進費					
局	総合政策局		課	中央地域課、小田地域課、大庄地域課、立花地域課、武庫地域課、園田地域課		所属長名	津田 江美、相馬 美津子、中島 正貴、神崎 宏治、田岡 清、坂本 満代

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	(一財)自治総合センターが行う宝くじの社会貢献広報事業による助成金(コミュニティ助成事業)を活用した、地域の活性化と住民のコミュニティ意識の醸成を図るための補助事業であり、補助金交付決定団体に対して補助金を交付する。
事業概要	地域の活性化と住民のコミュニティ意識の醸成を図ることを目的とする宝くじの社会貢献広報事業による助成金を活用し、自治会等が行うコミュニティ活動に必要な設備等の整備に対して補助を行う。
実施内容	○中央地域課 開明社会福祉連絡協議会の地域交流活動の拠点施設である開明地区会館のエアコン整備費用に対して補助を行った。 開明地区会館は、地域住民の「生きがいづくり」「仲間づくり」「健康づくり」などの活動を支援する地域施設であるが、室内のエアコンの故障により利用者の熱中症対策や新型コロナウイルス感染予防対策などに支障を来していたことから、機能回復のため助成を行った。 補助金交付額:2,000,000円

②事業成果の点検

目標指標	申請件数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)							単位	件
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和2年度	6	令和3年度	6
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)								
	○中央地域課 今回の整備により適正な室内温度に設定できるようになり、落ち着いて講義等に耳を傾けることができ、各種レクリエーション活動や百歳体操等の軽運動などへの利用幅が広がった。また、安心して利用できる環境となったことから地域内外の多くの方々へアピールすることができるようになり、地域コミュニティの活性化に資するものとなった。 【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) 各種広報や各地域振興センターを通じ、自治会等に本事業の周知を行っていくとともに、地域担当職員が地域の様々な主体と顔の見える関係づくりを進める中で、本助成事業を必要とする団体へとつなげていく。								

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	5,000	2,500	2,000	2,500	
負担金補助及び交付金	5,000	2,500	2,000	2,500	コミュニティ助成事業補助金
人件費 B	1,186	849	383	845	
職員人工数	0.17	0.11	0.05	0.11	
職員人件費	1,186	849	383	845	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	6,186	3,349	2,383	3,345	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	5,000	2,500	2,000	2,500	コミュニティ助成事業収入
一般財源	1,186	849	383	845	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	車座集会事業費	1E1F	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	—		展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成15年度		
会計	01 一般会計			
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	61 市民活動推進費			
局	総合政策局	課 協働推進課	所属長名	西田 真弓

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	市民(市内在住、在勤、在学者)と市長が直接対話する機会を持つことで、市民と行政の相互理解を図るとともに、市民参加のまちづくりを積極的に進めることを目的としている。				
事業概要	市民の市政への関心を高めるとともに、まちづくりに関する情報の共有化を推進するため、市民と市長が直接意見交換を行う。				
実施内容	1 実施手法 次の3つの手法で実施 ①「フリートーク型」: テーマ、対象者を特定せず参加者を公募 ②「テーマ型」: テーマを設定した上で参加者を公募又は指名 ③「ターゲット型」: 対象者を特定して参加者を公募又は指名				
	2 令和4年度実施実績				
	実施日	方法	テーマ	開催場所	参加者
	8月26日	ターゲット型	子育てサークルのみなさまと	中央北生涯学習プラザ	12人
	3 過去の実施結果				
実施回数	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	①フリートーク型	0回	0回	0回	
	②テーマ型	0回	0回	0回	
	③ターゲット型	0回	1回	1回	
	計	0回	1回	1回	
参加人数		0人	8人	12人	

②事業成果の点検

目標指標	車座集会の参加者人数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)								単位	人	
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和2年度	0	令和3年度	8	令和4年度	12
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: —) ・コロナ禍であることを鑑み、十分な安全対策を講じた上で、対象者を特定し、参加者を指名して実施した。 ・限られた時間の中で活発な対話が可能となるよう、より効果的な運営を図っていく必要がある。 【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) 市長が直接市民と意見交換する貴重な機会であることから、車座集会を効果的な対話の場とするため、テーマやターゲットの設定や開催方法等の工夫を行う。										

③事業費

(単位: 千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考) 令和5年度予算	備考
事業費 A	40	11	12	37	
報償費				16	手話等謝礼
需用費	40	11	11	12	消耗品
使用料及び賃借料			1	9	会場使用料
人件費 B	1,788	1,313	1,303	1,767	
職員人工数	0.23	0.17	0.17	0.23	
職員人件費	1,788	1,313	1,303	1,767	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	1,828	1,324	1,315	1,804	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	1,828	1,324	1,315	1,804	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	みんなの尼崎大学事業費	1E11	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	—		展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成26年度		
会計	01 一般会計			
款	05 総務費			
項	05 総務管理費			
目	61 市民活動推進費			
局	総合政策局	課 生涯、学習！推進課	所属長名	寺沢 元芳

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	地域活動を担う“人づくり”に向け、みんなの尼崎大学がプラットフォームとなり、市民の主体的な学習や活動を支援することにより、学びを通じて地域や社会に興味を抱き、学びの成果を活動に活かすことのできる環境づくりに取り組む。また若年層を中心に、身近な地域への愛着や主体的な地域への関わりといったシチズンシップを育てる。
事業概要	学びを通じて地域や社会に興味を抱く、また、学びの成果を活動に活かすことのできる環境づくりを進める。
実施内容	・まちで活動したい人の相談・交流の場「みんなの相談室」を6回(263人)、市内の学びの場をめぐる「オープンキャンパス」を5回(251人)開催した。また、各地域課におけるプラットフォーム(相談を持ち寄れる場)の定期開催が広がる中で、担当者同士が情報共有を図る「プラットフォーム×プラットフォーム」を開催した。その他、庁内へのプロモーションとして、市民と職員が平場で話ができる「尼大ランチミーティング」を開催し、職員34人、市民25人の59人の参加があった。 ・あまがさきキューズモールにて「尼大新歓！」と称し14の市内市民活動団体による団体紹介・ワークショップを行った。 ・「ブー—フ！」と称し、尼崎で本をテーマに活動している方々が集まりトークライブやワークショップなどを開催した。 ・まちの人がセンセイや生徒となる「みんなのサマーセミナー」は、コロナ禍の影響が懸念されたものの、市立尼崎高等学校で開催し、およそ220の授業を実施。延べ4100人の参加があった。 ・まちの課題解決を疑似体験するカードゲーム「ATTF2」を、地域団体や市内中学校等で実施(体験者延べ1,037人)。今後は、参加者自身も「ATTF2」を主催できるよう、カードセットの配付を行った。 ・その他、学生証発行、ウェブサイト等での学びに関する情報発信などの取組を行った。

②事業成果の点検

目標指標	みんなの尼崎大学に係る情報受信者数(各種SNSフォロワー、登録者数等)							単位	人	
目標・実績	目標値	11,000	達成年度	令和9年度	令和2年度	—	令和3年度	—	令和4年度	8,788
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: やや達成できず) ・各種SNSや尼大学報(学生登録者に対してのメールマガジン)の登録者数、受信者数は毎年増加しており、地域活動に興味を持っている市民とのつながりが増えている。 ・園田東生涯学習プラザでみんなの相談室を開催し、園田地区でのプラットフォーム定期開催に向けサポートした。 ・相談室で受けた相談から、みんなのサマーセミナーでのボードゲームルームの開催や市民まつりでの場内アナウンスへの挑戦、尼大軽音楽部の誕生と市民まつりでのお披露目など様々な活動が生まれた。 ・「ブー——フ！」ではテーマ型の開催とすることで、出演者同士のつながりや新たな参加者層の確保につながった。 ・社会福祉協議会が主催する「オレンジリボンフェスタ」の開催協力を行い、当日は約2,500人が参加した。 ・生涯学習活動に関わる人の裾野をより広げるべく市内各所で新たな学びの創出や情報発信に努める必要がある。									
	【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・「生涯、学習！」の理念をより多くの市民と共有するとともに、地域活動の活性化に寄与できるよう情報発信に努める。 冊子「大学案内」の刷新、相談室での各地域のプラットフォームの情報共有、AMANISMへの地域活動情報を掲載する。 ・橘公園における公園活用の社会実験と連携した出張相談室「尼大ランチミーティング」、「尼大新歓!」、「市民と職員がともに学ぶ研修」を職員がより多く参加できるような形で実施し、職員が市民とフラットに関われる場を創出していく。 ・「地域連携」を掲げる組織と新たにつながり、活動の支援の幅を広げる。									

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	8,108	5,402	5,733	7,377	
報償費	27			138	講師謝礼
需用費	272	185	225	107	消耗品費・印刷費
委託料	5,101	5,101	5,101	6,435	みんなの尼崎大学支援業務委託
使用料及び賃借料	2,650			14	会場使用料
その他	58	116	407	683	みんなのサマーセミナー負担金等
人件費 B	22,653	22,453	22,411	27,228	
職員人工数	2.61	2.60	2.59	3.21	
職員人件費	20,288	20,077	19,852	24,656	
会任等人件費	2,365	2,376	2,559	2,572	
合計 C(A+B)	30,761	27,855	28,144	34,605	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	30,761	27,855	28,144	34,605	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	市民運動推進事業費	1E1M	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	尼崎市民の暮らしの安全を推進する条例等		展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 昭和38年度		
会計	01 一般会計			
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	61 市民活動推進費			
局	総合政策局	課 協働推進課	所属長名	西田 真弓

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	生活環境を改善し、住み良いまちづくりを促進するために、そこに住み・集い・働く人々が、わがまち意識を持ち、自発的に事業に参加する状態を目指すもの。
事業概要	市民の創意と参加によって明るく住み良く豊かなまちを目指すため、市民運動を総合的に推進し、尼崎市民の暮らしの安全を推進する条例をもとに、市民運動推進委員会、市民運動各地区推進協議会事業への支援及び10万人わがまちクリーン運動を実施する。
実施内容	1 市民運動推進委員会総会(決算額:76千円 需用費等) 当該委員会は、市長と構成団体から選出された1名が共同代表を務め、各地区推進協議会、各種団体・関係行政機関71団体(令和5年3月末現在)、学識経験者2名で構成し、市民の創意と参加により明るく住みよく豊かなまちを目指し、市民運動を総合的に推進する。 【令和4年度総会実績】 開催日:令和4年6月24日(金) 場所:中央北生涯学習プラザ 出席者数:54人 2 市民運動各地区推進協議会事業補助(決算額:6,333千円 予算額:@1,200千円×6地区) 市民運動を効果的に推進するため、地域の各種団体で構成されている市民運動各地区推進協議会が実施する事業に対して補助する。 3 10万人わがまちクリーン運動(決算額:655千円 委託費等) 市制80周年を契機に、市・市民・事業者が一体となり取り組んだ、全市一斉クリーン運動とクリーン運動月間を継続して実施することにより、市民自らの手でまちの美化を推進するとともに、市民のわがまち意識の醸成を図る。 【令和4年度実績】 参加者数:21,027人 ごみ収集量:23.9トン

②事業成果の点検

目標指標	10万人わがまちクリーン運動参加者人数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)								単位	人
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度 令和2年度	—	令和3年度	—	令和4年度	21,027
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: —) ・令和4年度の取組テーマである「自転車マナーの向上」、「タバコのマナー向上」に基づき、啓発ポスターの作成・掲示等の取組を実施するとともに、コロナ禍の影響で中止していた啓発キャンペーンを構成団体が一体となって実施した。 ・市民運動各地区推進協議会では、一部感染状況により中止になった事業もあったものの、感染防止対策を取りながらコロナ以前の実施状況に近い規模で多くの事業が実施された。 ・クリーン運動は、3年ぶりに全市での一斉清掃を行ったが、参加者数(職員数含む)はコロナ禍前と比較し減少した。 【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・市民運動推進委員会は、委員会で決めた取組テーマについて、必要に応じて市と連携をしながら、全市一体となって取り組んでいく。 ・地域団体の活動を支援する、市民運動各地区推進協議会事業補助金と地域コミュニティ活動支援事業補助金の2つの補助金について、令和5年度から相互に流用し、柔軟な予算配分を可能としており、地域の実態にあったより効果的な支援を実施する。 ・地域への愛着と誇りを高める運動として、市民や職員に対し、クリーン運動への参加を引き続き呼び掛けていく。									

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	3,968	4,375	7,064	11,701	
需用費	192	150	76	96	清掃に係る消耗品等
委託料		341	649	796	クリーン運動収集委託
使用料及び賃借料	3	6	6	9	総会等会場使用料
負担金補助及び交付金	3,773	3,878	6,333	10,800	事業補助金(令和5年度は「あまがさきチャレンジまちづくり事業費」から一部事業を移管したことにより増)
人件費 B	4,353	4,324	4,292	14,080	
職員人工数	0.56	0.56	0.56	1.85	
職員人件費	4,353	4,324	4,292	14,080	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	8,321	8,699	11,356	25,781	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	3,786	3,878	6,333	7,200	市町村振興協会市町交付金
一般財源	4,535	4,821	5,023	18,581	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	市民活動情報発信事業費	1E10	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	—		展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成23年度		
会計	01 一般会計			
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	61 市民活動推進費			
局	総合政策局	課 協働推進課	所属長名	西田 真弓

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	協働のまちづくりを推進するため、様々な段階での市民参加・参画の機会の充実を図る。 市民・事業者・行政が、課題や目標を共有しながら、それぞれが持つ特長を生かした役割を担い、補い合いながら、よりよいまちづくり、地域づくりに取り組んでいる状態を目指すもの。					
事業概要	市民活動団体の情報や様々な事業の情報を収集し、市民活動ポータルサイト「市民活動の広場あまがさき」を介して市民へ発信していく。					
実施内容	1 事業内容 インターネット上での市民活動の総合窓口「市民活動の広場あまがさき」を開設し、市民活動団体の情報や様々な事業に関する情報の収集・発信を行っている。平成23、24年度に提案型協働事業として試行的に実施(提案団体に補助金を交付し、協働で運営)し、平成30年度からは、業務委託により運営を行っている。なお、令和2年度にセキュリティの脆弱性が見つかったことを機に、サイト改修を行っている。					
	2 事業実績					
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	平均月間アクセス数	2,715	2,331	744	495	680
	平均月間イベントカレンダー掲載事業数	209	237	109	206	228

②事業成果の点検

目標指標	市民活動ポータルサイト平均月間アクセス数（適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記）							単位	件	
目標・実績	目標値	2,600	達成年度	令和9年度	令和2年度	744	令和3年度	495	令和4年度	680
事業成果 （達成状況等）	【成果と課題】（目標に対する達成状況： 下回った） ・コロナ禍にあっても工夫しながらイベント開催が徐々に復活したことに伴い、イベントカレンダー掲載事業数は増加している。これにより、アクセス数もやや増加したものの、令和2年度に行ったサイト改修（ホームページアドレスの変更等）以前の水準には戻らない状態が続いている。 ・公共施設へチラシの設置を行うなど、周知は行っているが、サイトへのアクセス数の伸びにはつながっていない。 【今後の取組方針】（事業の方向性： 改善） ・現状のアクセス状況について分析を行い、効果的な周知方法について検討する。 ・学びや活動の情報を一括で検索できるという利便性の高いサイトであることを知ってもらえるよう、周知内容についても工夫を図っていく。									

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	771	568	574	588	
委託料	771	568	574	588	サイト運営業務委託
人件費 B	2,507	2,625	2,223	2,227	
職員人工数	0.34	0.34	0.29	0.29	
職員人件費	2,507	2,625	2,223	2,227	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	3,278	3,193	2,797	2,815	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	3,278	3,193	2,797	2,815	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	あまがさきチャレンジまちづくり事業費			1E1P	施策	01 地域コミュニティ・学び			
根拠法令	あまがさきチャレンジまちづくり事業補助金交付要綱				展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進			
事業分類	補助金・助成金		事業開始年度	平成17年度					
会計	01 一般会計								
款	10 総務費								
項	05 総務管理費								
目	61 市民活動推進費								
局	総合政策局		課	協働推進課、中央地域課、小田地域課、大庄地域課、立花地域課、武庫地域課、園田地域課		所属長名	西田 真弓、津田 江美、相馬 美津子、中島 正貴、神崎 宏治、田岡 清、坂本 満代		

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	地域で活動する団体・グループが自立して活動できるよう支援を行うことによって地域活動の活性化を図り、協働のまちづくりを推進する。
事業概要	「地域をよりよくするため市民自ら考え、力を合わせて実施する活動」で公益的なものに対し補助を行うことにより地域社会の連帯を深め、まちづくりの推進を図る。
実施内容	地域の課題解決に向けて、市民主体の団体が取り組む公益的な事業について支援を行う。 1 地域コミュニティ活動支援事業補助(補助金交付額2,700千円(決算額2,547千円)31事業申請、30事業採択) ・対象事業:市内1地区で行う公益的な事業 補助金額:補助対象経費の8/10以内、上限10万円 2 あまらぶチャレンジ事業補助(補助金交付額952千円(決算額712千円)7事業申請、5事業採択) ・対象事業:2つ以上の地区にまたがって行う公益的な事業 ・補助金額:1年目 上限30万円(補助対象経費の10/10以内)、2年目 上限15万円(補助対象経費の5/10以内)、3年目 上限9万円(補助対象経費の3/10以内) 3 あまらぶチャレンジ事業ジュニアコース(補助金交付額256千円(決算額158千円)8事業申請、8事業採択) ・対象事業:市内の高校生グループが行う公益的な事業 補助金額:補助対象経費の10/10以内、上限5万円 4 地域活動サポーター事業(活動実績:計77回(報償費 5,000円/回)) ・地域コミュニティ活動に知識と経験を有するサポーター(市民活動団体代表等)を地域へ派遣し、地域振興センターと連携して活動団体等へ指導・助言を行うとともに、活動団体間のネットワークの形成を図る。

②事業成果の点検

目標指標	申請団体数(地域コミュニティ活動支援事業補助、あまらぶチャレンジ事業補助) (適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	団体	
目標・実績	目標値	55	達成 年度	毎 年度	令和2年度	46	令和3年度	59	令和4年度	46
事業成果 (達成状況 等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成) ・令和3年度と比較すると申請団体数は、地域コミュニティ活動支援事業、あまらぶチャレンジ事業は横ばいである。 ・あまらぶチャレンジ事業ジュニアコースは、12団体減少し、令和2年度以前と同等の申請団体数に留まった。しかし、参加した高校生からは活動を通じて、「尼崎のことを知ることができた」「他者の考えを聞くことで、視野が広がった」などの声が寄せられ、他者と力を合わせ、地域活動を行うきっかけとなった。 ・補助金が不交付となった事業や補助期間が終了した事業についても、事業を実施、継続できるよう、補助金交付以外の方法で、活動を支援していく必要がある。 【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・補助金の交付、不交付に関わらず、活動団体が事業を実施、継続できるよう、地域担当職員等が伴走支援を行っていく。 ・各地区プラットフォームなどを活用し、活動団体と取組に関心のある人や団体が出会う場を創出することで、事業の応援者が増えていくようなコーディネートを行う。									

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	3,778	3,882	4,205	2,777	
報償費	545	625	659	600	地域活動サポーター報償費等
需用費	73	70	75	81	浄書印刷等
役務費	35	66	30	40	あまらぶジュニア保険料
使用料及び賃借料	19	56	25	56	ワークショップ等会場費
負担金補助及び交付金	3,106	3,065	3,416	2,000	事業補助金(令和5年度は「地域団体活動促進事業費(市民運動推進事業費)」へ一部事業を移管したことにより減)
人件費 B	11,537	10,504	12,594	3,656	
職員人工数	1.50	1.37	1.67	0.45	
職員人件費	11,387	10,314	12,414	3,456	
会任等人件費	150	190	180	200	あまらぶチャレンジ事業委員報酬等
合計 C(A+B)	15,315	14,386	16,799	6,433	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	1,764	858	870	2,000	市町村振興協会市町交付金
一般財源	13,551	13,528	15,929	4,433	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	あまがさき市民まつり事業補助金	1E1R	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	あまがさき市民まつり事業補助金交付要綱		展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進
事業分類	ソフト事業	事業開始年度	平成25年度	
会計	01 一般会計			
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	61 市民活動推進費			
局	総合政策局	課	生涯、学習！推進課	所属長名 寺沢 元芳

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	市制の誕生を祝う趣旨で始まった市民まつりが、市民に親しまれるとともに、市民まつりの企画運営の中で市民及び市内で活躍する団体が互いにコミュニケーションを深めながら、特定の地域や団体にとらわれない活動が活発になっている状態を目指す。
事業概要	安定的な開催の支援のため市民まつり協議会への補助を行う。
実施内容	市民まつりの実施に当たっては、地域団体の代表者等で構成する尼崎市民まつり協議会実行委員会を組織し、各事業部会に分かれて企画・運営を行った。協議会の事務局については、市民と市の協働で担っている。 (事業部会構成) ステージ部会、こどもひろば部会、出店部会、展示部会、だんじり部会、広報部会、警備安全部会、あまうえる部会、自然環境交流ひろば部会 令和4年度は3年ぶりの開催となった。(令和2年度及び3年度はコロナ禍の影響による開催中止) 開催日時：令和4年10月2日(日) 午前10時～午後7時 開催場所：市役所周辺、中央北生涯学習プラザ

②事業成果の点検

目標指標	市民まつりの参加者数(来場者数)(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	人	
目標・実績	目標値	60,000	達成年度	毎年度	令和2年度	— (開催中止)	令和3年度	— (開催中止)	令和4年度	30,000
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況： 下回った) ・令和4年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により開催が危ぶまれたものの、会場内の飲食禁止や、来場者の導線を整理するなど感染症予防対策の徹底により、3年ぶりの開催を実現することができた。来場者数は平時の目標値を大きく下回ったものの、様々な制限のある中での開催でありながら、多くの市民の参加が得られた。 ・今後の開催に向けてはより魅力的な市民まつりにするため、市民まつりの代名詞となるような催しの企画や、企画運営において若い力を求めるなど、市民とのより幅広い協働を実施する必要がある。									
	【今後の取組方針】(事業の方向性： 維持) まつりの企画運営を通して、市民が使えるプラットフォームとなるよう、今後も市民及び市内で活躍する団体が互いにコミュニケーションを深めながら、活発な活動を行なっていくとともに、市民が楽しみながら市のことを深く知ることができるような企画、運営していく。									

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考) 令和5年度予算	備考
事業費 A	0	200	2,500	2,500	
負担金補助及び交付金		200	2,500	2,500	
人件費 B	13,370	11,737	11,420	10,383	
職員人工数	1.72	1.52	1.29	1.16	
職員人件費	13,370	11,737	9,888	8,910	
会任等人件費			1,532	1,473	
合計 C(A+B)	13,370	11,937	13,920	12,883	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	13,370	11,937	13,920	12,883	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	尼崎市社会福祉協議会補助金(債務負担分を含む。)	1E1W	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	尼崎市社会福祉法人助成条例第4条		展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進
事業分類	補助金・助成金	事業開始年度 昭和26年度		
会計	01 一般会計			
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	61 市民活動推進費			
局	総合政策局	課 協働推進課	所属長名	西田 真弓

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	尼崎市社会福祉協議会(市社協)は本市における地域福祉、地域自治の担い手として、重要な役割を果たしており、市が支援することで経営基盤を安定させ活動の充実を図ることにより、地域福祉、地域自治のより一層の推進を目指す。
事業概要	地域コミュニティ活動及び地域福祉活動の推進を図るため、市社協に補助金を交付し、自主財源に乏しい本部、支部社協の運営を側面的に支援するとともに、社会福祉連絡協議会(連協)、福祉協会(単協)の活動を助成する。
実施内容	市社協に対し、次の経費を助成する。 1 地域自治活動及び地域福祉活動に係る人件費(決算額:120,780千円) 理事長、常務理事、本部・支部職員22人の人件費を助成する。 2 地域自治活動に係る事務事業費(決算額:24,486千円) 事務事業費、支部運営費、連協・単協活動費、社協会館運営費、地域広報活動推進補助費を助成する。 3 会館移転関係経費(決算額:114,546千円) 社協会館移転に係る改修工事費及び工事監理費の一部を助成する。 【地域自治活動及び地域福祉活動に係る実施事業(支部・連協・単協含む)】 ・市・市社協・連協・単協間連絡調整 ・善意銀行関連業務 ・各種委員推薦に係る業務 ・老人給食事業 ・日赤社資募集事業 ・地域高齢者福祉推進事業 ・共同募金、ともしびの箱募金 ・高齢者等見守り事業 ・あんしん通報システム事業 ・コミュニティ活動 ・福祉活動 ・加入促進に係る取組 等

②事業成果の点検

目標指標	市社協加入率(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)	単位	%
目標・実績	目標値 60.0 達成年度 令和9年度 令和2年度 47.4 令和3年度 46.1 令和4年度 44.5		
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: やや達成できず) ・市社協は、地域自治機能と地域福祉機能の両面を有し、本市の地域自治活動や地域福祉活動などにおいて、中核的な役割を担っており、市にとって欠かすことのできない団体である。 ・加入率が減少傾向となっていることに対しては、市内への転入者に対する市社協の案内チラシの配布に加え、市報令和4年9月号の特集記事で地域活動について紹介するなど、加入促進の取組を継続して行っている。 ・市社協の未加入世帯や、単協のない地区等に対する情報発信、地域コミュニティのつながりの希薄化などが課題となっている。 【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・各地域に応じた地域活動の情報誌や加入促進のチラシなどの広報物を市社協と連携して作成・配布を行う。 ・社協本部が令和4年度末をもって市社協所有施設である尼社協ほっと館へ移転したことから、令和5年度からは社協会館運営費に係る補助は行わない。 ・テーマ型の活動者を福祉協会をはじめとする地縁型の地域活動へつなげる働きかけなど、活動者を増やすための取組を行う。		

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	121,667	218,807	259,812	138,420	
負担金補助及び交付金	121,667	218,807	259,812	138,420	令和2年度は移転先施設の設計費、令和3・4年度は移転先施設の改修工事費が含まれている。
人件費 B	3,498	4,324	4,292	4,378	
職員人工数	0.45	0.56	0.56	0.57	
職員人件費	3,498	4,324	4,292	4,378	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	125,165	223,131	264,104	142,798	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債	4,600	69,700	114,546		一般単独事業債
その他					
一般財源	120,565	153,431	149,558	142,798	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	地域資源情報公開システム事業費	1E22	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	—		展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 令和2年度		
会計	01 一般会計			
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	61 市民活動推進費			
局	総合政策局	課 協働推進課	所属長名	西田 真弓

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	地域の交流や集いの場、相談窓口、コミュニティ拠点施設等の地域資源情報を、分野やエリアごとに検索できるシステムを運用することにより、市民サービスの向上を図るとともに、市・尼崎市社会福祉協議会(市社協)・地域活動の担い手など各主体間における情報共有を推進する。
事業概要	福祉、社会教育関係等の地域資源の情報を公開し、エリアごとに検索できるシステムを運用する。
実施内容	○地域情報共有サイト「あましえあ」の運用(決算額:4,836千円 委託料) 1 サイト概要 地域の交流や集いの場、相談窓口、コミュニティ拠点施設、市民活動団体等の幅広い地域資源情報を、分野やエリアごとに検索できるシステムを運用することにより、地域資源の可視化及び市民サービスの向上を図る。 また関係者専用サイト内のみで取り扱う地域情報や活動記録を活用することで、市、市社協等の関係者間の情報共有を推進する。 2 実施内容 サイトの運営管理及び関係者による地域資源情報のメンテナンス(登録・更新・削除)の補助等を行う。 情報共有や活用が推進されるよう効果的な運用を図る。

②事業成果の点検

目標指標	—(適切な成果指標及び活動指標の設定は困難)									単位	—
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和2年度	—	令和3年度	—	令和4年度	—
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: —) ・関係者の地域資源情報の登録、利用等を引き続きサポートし、関係者間の情報共有が活発に行われるよう、適宜操作説明会を行った。 ・各地域課及び各支部社協、生涯、学習！推進課のメンバーで構成したあましえあ活用検討会を開催し、より活用しやすい運用ルールを整備した。また、新たに追加した機能である団体記録の効果的な活用方法を検討し、関係者間で共有した。 ・情報の更新作業が課題となっているため、引き続き適切な運用に向けた検討が必要である。 【今後の取組方針】(事業の方向性: 改善) ・シニア元気アップパンフレットとの情報連動を行い、業務の効率化を図る。 ・団体記録の機能を周知し、より幅広く関係者間で情報共有できるよう推進していく。 ・登録された地域資源情報をもとに、地区ごとの特性や地域課題を把握できるよう作成している分析資料について関係者から意見を募り、より効果的な活用に向けた改善を検討していく。										

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	8,690	4,950	4,836	4,686	
委託料	8,690	4,950	4,836	4,686	システム運用保守業務委託
人件費 B	0	2,162	2,146	2,151	
職員人工数		0.28	0.28	0.28	
職員人件費		2,162	2,146	2,151	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	8,690	7,112	6,982	6,837	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金	8,690				新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国10/10)
市債					
その他		4,464	1,997		市町村振興協会市町交付金
一般財源	0	2,648	4,985	6,837	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	特定非営利活動促進事業費			1E23	施策	01 地域コミュニティ・学び				
根拠法令	特定非営利活動促進事業補助金交付要綱					展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進			
事業分類	補助金・助成金		事業開始年度	令和2年度						
会計	01 一般会計									
款	10 総務費									
項	05 総務管理費									
目	61 市民活動推進費									
局	総合政策局			課	協働推進課			所属長名	西田 真弓	

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	市内におけるNPO法人の社会貢献、地域の課題解決や魅力向上に資する取組の促進を目指す。																								
事業概要	NPO法人が行う特定非営利活動事業に共感し、応援するために市民や事業者から寄せられた寄付金の範囲内の額を、特定非営利活動の促進のため、市がNPO法人に交付する。																								
実施内容	地域の課題解決に向けて、NPO法人が取り組む公益的な事業について支援を行う。 ・主たる効果が尼崎市内で生じる、または、主に尼崎市民を対象とした公益的な事業を行うNPO法人に対し、市民等からの寄付金額を上限に交付する。 ・寄付金の年度間調整を行うために、特定非営利活動促進基金を設置している。																								
	○令和4年度実績																								
	<table><tr><td></td><td>採択事業数</td><td>事業申請額</td><td>寄付件数</td><td>寄付金額 ①</td><td>前年度繰越額 ②</td><td>交付可能額 ③＝①＋②</td><td>交付額</td></tr><tr><td>通常版</td><td>10事業</td><td>16,858千円</td><td>368件</td><td>8,155千円</td><td>606千円</td><td>8,761千円</td><td>7,627千円</td></tr><tr><td>企業版</td><td>4事業</td><td>5,800千円</td><td>1件</td><td>100千円</td><td>-千円</td><td>100千円</td><td>-千円</td></tr></table>		採択事業数	事業申請額	寄付件数	寄付金額 ①	前年度繰越額 ②	交付可能額 ③＝①＋②	交付額	通常版	10事業	16,858千円	368件	8,155千円	606千円	8,761千円	7,627千円	企業版	4事業	5,800千円	1件	100千円	-千円	100千円	-千円
		採択事業数	事業申請額	寄付件数	寄付金額 ①	前年度繰越額 ②	交付可能額 ③＝①＋②	交付額																	
	通常版	10事業	16,858千円	368件	8,155千円	606千円	8,761千円	7,627千円																	
企業版	4事業	5,800千円	1件	100千円	-千円	100千円	-千円																		
※交付額を超過した交付可能額は、翌年度以降の活用を予定している。 ※企業版は申請年度の翌年度に実施する事業が対象のため、交付可能額は翌年度に交付を行う。 ※(参考) 令和3年度実績: 寄付件数139件、寄付金額2,592千円																									

②事業成果の点検

目標指標	申請団体数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	団体	
目標・実績	目標値	35	達成年度	令和9年度	令和2年度	10	令和3年度	13	令和4年度	10
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: 下回った) ・申請団体数は、新たに3団体が加わったものの前年度申請団体のうち6団体が申請しなかったため総数は10団体となり、目標値は下回った。一方で、全体の寄付金額及び寄付件数は前年度から大幅に増加しており、クラウドファンディング及び企業版ふるさと納税制度の活用といった資金調達幅を広げたことによる一定の成果が認められる。 ・団体によって寄付金額に差があるため、効果的な広報手法の検討についてサポートなどを行い、これまでに申請があった団体の定着を図るとともに、新たな団体からの申請につながるよう引き続き制度周知に努める必要がある。									
	【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・全国の幅広い層へNPO法人の活動を伝えられる等、新たな支援者の獲得に高い効果が見込めるクラウドファンディングの申請要件を緩和するなど、団体ごとに適した形で資金調達手段を選択・活用できるよう引き続きサポートを行う。 ・この事業は地域の課題に主体的に取り組むNPO法人が活動を継続的に実施していく上で課題となっている資金調達の一助となることや、制度の活用を機に新たな団体を呼び込むことにも寄与することから事業を実施する必要性は高い。また、寄付金額及び寄付件数の増加等、NPO法人の活動支援に一定の成果が出ていることから継続実施の方向で検討する。									

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考) 令和5年度予算	備考
事業費 A	3,489	3,011	7,640	4,192	
需用費	12	12	11	14	消耗品費
使用料及び賃借料			2	2	市民まつり協力金
負担金補助及び交付金	3,477	2,999	7,627	4,176	特定非営利活動促進事業補助
人件費 B	2,176	3,475	3,909	3,456	
職員人工数	0.28	0.45	0.51	0.45	
職員人件費	2,176	3,475	3,909	3,456	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	5,665	6,486	11,549	7,648	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	3,477	2,999	7,627	4,176	特定非営利活動促進基金繰入金
一般財源	2,188	3,487	3,922	3,472	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	中央地区学びと活動推進事業費			1E2Q	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	社会教育法、尼崎市自治のまちづくり条例等				展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度	令和3年度				
会計	01 一般会計						
款	10 総務費						
項	05 総務管理費						
目	61 市民活動推進費						
局	総合政策局		課	中央地域課		所属長名	津田 江美

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	生涯にわたる様々な学びの機会を提供するとともに、地域におけるお互いの顔の見える関係づくり、ひいては地域発意の課題解決や魅力向上の取組が広がる環境づくりを進める。
事業概要	各地区において、学びや交流の場づくりに取り組むにあたり、生涯学習プラザ等で生涯学習事業を展開するとともに、必要に応じ「地域予算」を柔軟に活用していく。
実施内容	・人権・平和学習推進事業 人権推進講座、オピニオンリーダー研修、平和学習推進事業等、11事業 5,306人 ・家庭・地域子育て力向上支援事業 子どもふれあいスクール事業、子育て講座等、17事業 834人 ・生涯学習推進事業 市民大学、リクエスト講座、日本語よみかき学級、4事業 5,920人 ・地域力創生事業 地域・現代学講座、17事業 2,159人 ・市民参加・交流・連携推進事業 地域交流事業、ふれあい学級事業等、17事業 4,843人 ・尼崎学びのサポート事業 教育支援室「サテライト教室」、1事業 292人 ・阪神尼あんしんまちづくり事業 中央地区防犯パトロール10回実施 ・中央ぶらぶら通信の発行 発行回数:3回 ・地域予算事業 地域の勉強会の開催(3回、33人)、こどもの居場所確保に向けた「たけやキッズパーク」の実施(11回、延べ218人)、地域コミュニティの場「GO-goうめ!」の実施(5回、延べ109人)、毎月10日は中央おしゃべりデー(1回、29人)、福祉会館PRリーフレットの発行(辰巳福祉会館)

②事業成果の点検

目標指標	イベント・講座の参加者数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)								単位	人	
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和2年度	7,374	令和3年度	10,488	令和4年度	19,743
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: —) ・新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を講じた上で講座等を計画通り実施し、令和3年度に比べ約9,000人の参加者増となった。 ・地域住民や団体等が活躍する場・地域とともに学ぶ場を創出するため、地域住民等からの持込企画制度を新設した結果、3団体からの提案があり、中央地域課事業として提案者と協働で実施した。 ・小学校区単位で実施していた協議の場を拡大し、中央北・南生涯学習プラザや中央地区内の公共施設等で行うことにより、多様な地域住民が気軽に参加し、協議できる新たなプラットフォーム「毎月10日は中央おしゃべりデー」としてリニューアルを図った。										
	【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・中央地域課が実施する講座等の多くを中央北生涯学習プラザで行ってきたが、今後はさらに多様な地域住民が講座を受講できる環境を整えるため、中央南生涯学習プラザでも企画・実施していく。 ・講座等の受講者アンケートで得た「今後希望する講座等のニーズ」を踏まえた企画を検討する。 ・地域における課題意識に着目し、課題解決に向けて取り組むにあたり、地域や団体の意向に沿った勉強会の開催支援や有益な情報提供を行うなど、地域や団体との関係性を更に深化させていく。										

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	1,775	1,560	1,387	2,793	
報償費	1,023	1,006	762	1,671	講師等謝礼
需用費	623	419	480	840	広報誌印刷製本費等
使用料及び賃借料	114	114	117	121	ソフトウェア使用料、会場使用料
負担金補助及び交付金		4	8	100	あま咲きコイン
その他	15	17	20	61	レクリエーション保険料
人件費 B	43,510	44,301	34,326	40,350	
職員人工数	4.72	5.12	3.89	4.64	
職員人件費	35,021	39,537	29,817	35,671	
会任等人件費	8,489	4,764	4,509	4,679	
合計 C(A+B)	45,285	45,861	35,713	43,143	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	148	370	98	120	市民福祉振興基金(～R3)、生涯学習プラザ事業収入
一般財源	45,137	45,491	35,615	43,023	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	小田地区学びと活動推進事業費			1E2R	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	社会教育法、尼崎市自治のまちづくり条例等				展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度	令和3年度				
会計	01 一般会計						
款	10 総務費						
項	05 総務管理費						
目	61 市民活動推進費						
局	総合政策局		課	小田地域課		所属長名	相馬 美津子

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	生涯にわたる様々な学びの機会を提供するとともに、地域におけるお互いの顔の見える関係づくり、ひいては地域発意の課題解決や魅力向上の取組が広がる環境づくりを進める。
事業概要	各地区において、学びや交流の場づくりに取り組むにあたり、生涯学習プラザ等で生涯学習事業を展開するとともに、必要に応じ「地域予算」を柔軟に活用していく。
実施内容	・人権・平和学習推進事業：人権講座「LGBT子育て論」、ハートフルシネマなど、65回 5,496人 ・家庭・地域子育て力向上支援事業：潮江子育て学級、やさしいピラティス&ヨガなど、212回 11,038人 ・生涯学習推進事業：小田市民大学、小田日本語読み書き学級など、45回 999人 ・地域力創生事業：ユースサテライト事業、おいでよ！小田ハロウィン！など、185回 9,738人 ・市民参加・交流・連携推進事業：第44回小田地域ふれあい展など 15回、740人 ・地域情報誌発行事業：「小田がまち瓦版」発行回数11回 発行枚数延べ28,600枚 ・地域予算事業：おだらぶ土曜雑談会 11回、112人

②事業成果の点検

目標指標	イベント・講座の参加者数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)								単位	人	
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和2年度	12,693	令和3年度	22,404	令和4年度	28,123人
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: —) ・マーケットイベント「おいでよ！小田」は、市民で構成される実行委員会がイベントの企画や準備、反省会の実施など主体性をもって楽しみながら運営に取り組めたほか、出店・出演者を公募し市民交流の場を創出することができた。「SDGsフェア」は、各学校や企業、市民活動団体などの参加があり、小学校の環境学習支援の成果についての劇形式での発表など、来場者に幅広い分野の学びや体験の機会を提供するとともに、地域への愛着の醸成に寄与できた。今後、さらに市民主体の取組となっていくように支援していく必要がある。 ・当事者の発意をきっかけに、開催場所の提供や実施方法の提案などを行い、生きづらさを感じている女性のための交流会や車いすユーザーの実態・手助け方法を学ぶ講座など、市民発意の事業を始めることができた。なお、より多くの人が事業に参加してもらえるよう広報等の工夫を検討していく必要がある。										
	【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・全館イベント等により、個人や団体の活躍の場やつながりを深め広げる場を提供していくとともに、参加者の幅広い学びと体験の機会を増やし、学びと活動の循環につなげていく。 ・地域担当職員が、地域発意の情報を聞き取り、地域や学校の連携強化に取り組むとともに、それまでつながりがなかった個人や団体同士をつなげ相乗効果を生み出すコーディネートを行うことで、活動の伴走・支援を行う。										

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	1,047	1,389	1,075	2,120	
報償費	435	485	514	883	講師謝礼
需用費	143	837	492	896	各種事業消耗品等
委託料	462				
負担金補助及び交付金		61	38	221	あま咲きコイン
その他	7	6	31	120	レクリエーション保険等
人件費 B	36,163	34,458	56,359	52,037	
職員人工数	5.79	4.80	7.08	6.73	
職員人件費	33,029	33,359	54,268	49,742	
会任等人件費	3,134	1,099	2,091	2,295	
合計 C(A+B)	37,210	35,847	57,434	54,157	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	350	435	120	120	市民福祉振興基金(～R3)、生涯学習プラザ事業収入
一般財源	36,860	35,412	57,314	54,037	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	大庄地区学びと活動推進事業費	1E2S	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	社会教育法、尼崎市自治のまちづくり条例等		展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 令和3年度		
会計	01 一般会計			
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	61 市民活動推進費			
局	総合政策局	課 大庄地域課	所属長名	中島 正貴

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	生涯にわたる様々な学びの機会を提供するとともに、地域におけるお互いの顔の見える関係づくり、ひいては地域発意の課題解決や魅力向上の取組が広がる環境づくりを進める。
事業概要	各地区において、学びや交流の場づくりに取り組むにあたり、生涯学習プラザ等で生涯学習事業を展開するとともに、必要に応じ「地域予算」を柔軟に活用していく。
実施内容	・人権・平和学習推進事業 ハートフルシネマなど 13回 1,304人 ・家庭・地域子育て力向上支援事業 大庄子育てサロンなど 38回 820人 ・生涯学習推進事業 市民大学など 48回 841人 ・地域力創生事業 ことはじめかいぎなど 79回 2,747人 ・市民参加・交流・連携推進事業 くすのき学級など 4回 405人 ・地域予算事業 地域発意のトンネルアート…令和3年度に実施した琴浦通り高架下トンネルアート事業の参加者からの提案により、地域住民、地域団体、地元企業、中学校、行政が協働して国道43号高架下トンネル壁面に絵を描くことで、地域の安全安心や、地域への愛着の醸成に寄与。(延べ196人) 市民による地域情報誌の発行、魅力発見…市民から募った編集委員により、地域資源や人などを発掘・紹介する地域情報誌「O2(オーツー)」第2号を発行。(延べ49人) ・大庄西中学校跡地等活用検討事業 協働型公園等の実現に向けた意見を募るため、意見交換会を実施。(5回 延べ137人)

②事業成果の点検

目標指標	イベント・講座の参加者数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)								単位	人	
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和2年度	1,964	令和3年度	3,763	令和4年度	6,499
事業成果 (達成状況 等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: —) ・地域発意のトンネルアートでは、ボランティアを公募し当日参加も可としたため、これまで地域行事等に参加したことがない親子連れなどの新たな層の参加も得られた。 ・市民による地域情報誌の発行、魅力発見では、新たな編集委員の参画もあり、地域課・編集委員・取材先・配付協力事業所など、新しいつながりが広がっている。 ・大庄西中学校跡地等活用検討事業では、意見交換会で得られた意見をまとめ、協働型公園等のゾーニングを行い、イメージパースを作成した。										
	【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・地域発意のトンネルアートについては、完成した2か所のトンネルアートを地域資源として活用・発信しながら、「第3弾」となる地域の発掘に取り組む。 ・市民による地域情報誌の発行、魅力発見については、新たな編集委員や取材先、配付先などを開拓することで地域のつながりを広げ、引き続き第3号の発行に取り組む。 ・大庄西中学校跡地活用等整備事業については、とりまとめたイメージパース・ゾーニング等をもとに、公園等で社会実験を実施することで、地域の魅力を高めるとともに地域コミュニティの活性化を図る。										

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	1,099	1,265	6,170	2,045	
報償費	914	864	725	1,368	講師謝礼
需用費	135	393	438	454	事業用消耗品費
使用料及び賃借料	41			51	会場使用料
委託料			5,000		大庄西中跡地等活用に係る委託料
その他	9	8	7	172	あま咲きコイン、旅費、ボランティア保険料等
人件費 B	40,495	36,021	36,177	41,309	
職員人工数	3.60	6.20	6.25	5.35	
職員人件費	33,543	31,150	31,753	36,672	
会任等人件費	6,952	4,871	4,424	4,637	
合計 C(A+B)	41,594	37,286	42,347	43,354	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	269	295	38	8	市民福祉振興基金(～R3)、生涯学習プラザ事業収入
一般財源	41,325	36,991	42,309	43,346	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	立花地区学びと活動推進事業費	1E2T	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	社会教育法、尼崎市自治のまちづくり条例等		展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 令和3年度		
会計	01 一般会計			
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	61 市民活動推進費			
局	総合政策局	課	立花地域課	所属長名 神崎 宏治

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	生涯にわたる様々な学びの機会を提供するとともに、地域におけるお互いの顔の見える関係づくり、ひいては地域発意の課題解決や魅力向上の取組が広がる環境づくりを進める。
事業概要	各地区において、学びや交流の場づくりに取り組むにあたり、生涯学習プラザ等で生涯学習事業を展開するとともに、必要に応じ「地域予算」を柔軟に活用していく。
実施内容	・人権・平和学習推進事業 平和パネル展 2回 557人、人権講座(人権啓発映画会、日本語ボランティア養成講座、ひかり学級インクルーシブ講座等) 28回 618人 8団体 ・家庭・地域子育て力向上支援事業 たちばなウェルカムスタンプラリー 1回(9日間) 延べ 796人(参加施設13か所、実施イベント16件)、その他(マニティセミナー、子育てカフェハローたちばな、ユースイベント等) 158回 2,269人 ・生涯学習推進事業 市民大学 10講座 233人、その他(桂八十八落語会、歴史講座) 2回 125人 ・地域力創生事業(シンブラザシネマ、フレイル予防体操教室、子どもの権利に関する学習交流会等) 64回 1,213人 ・市民参加・交流・連携推進事業(立北ふれあいまつり、生涯学習プラザ利用説明会等) 15回 1,568人 ・地域予算事業 立花かいわい会 24回 464人(立花かいわい会をきっかけとして生まれた活動 10件)、たちばなのマナビバ 32講座 608人、その他(会議ファシリテーション講座) 4回 55人

②事業成果の点検

目標指標	イベント・講座の参加者数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)								単位	人	
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和2年度	4,183	令和3年度	7,421	令和4年度	8,506
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: —) ・令和4年度は地域のプラットフォーム「立花かいわい会」の参加者や、地域活動に参画する大学生、また地縁関係者とともに、新立花南生涯学習プラザのオープニングイベントを行った。また、立花かいわい会から派生した活動(たちばなリレーライブ等)においては、多様な世代や分野の市民のつながりを育み、学びや体験の機会の提供を行った。 ・市民大学ではこれまで受講形式の講座を実施してきたが、学びの循環のため、令和4年度より受講後に参加者同士で交流する場をつくり、振り返りや新たな気付きにつながった。 ・地域にとって必要な学びや交流の機会として事業を企画したものの、参加者数が当初見込みより下回っているものがあつたため、より効果的な広報について検討する。										
	【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・地域活動になじみの薄い世代や、関わるきっかけがない方々が地域活動に関心を持つきっかけを作り、地域活動に関わる住民のすそ野を広げていく。 ・体験や学びが自己の成長や生きがい、ひいてはまちの課題解決にもつながっていくといった「生涯、学習!」の基本理念の浸透を意識し、取組を進めていく。また、引き続き市民発案の意見に寄り添い、市民の自発的活動が活発になるよう伴走支援を行う。 ・コロナ禍では直接の交流が難しく、オンラインなどを活用し地域とつながる工夫を凝らしてきたが、新型コロナウイルス感染症の5類移行を受け、改めて校区担当者が積極的に地域に出て、さらなるつながりや関係性が深まるよう努める。										

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	1,136	1,315	1,387	1,892	
報償費	840	956	959	1,150	講師謝礼
需用費	242	336	311	484	各種事業消耗品等
役務費	2	7	80	83	Wi-Fi使用料、レクリエーション保険
使用料及び賃借料	51	4		51	会場使用料等
その他	1	12	37	124	あま咲きコイン、旅費等
人件費 B	44,209	52,774	42,685	38,399	
職員人工数	5.53	6.50	5.37	4.76	
職員人件費	40,274	49,127	40,513	36,171	
会任等人件費	3,935	3,647	2,172	2,228	
合計 C(A+B)	45,345	54,089	44,072	40,291	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	322	343	78	80	市民福祉振興基金(～R3)、生涯学習プラザ事業収入
一般財源	45,023	53,746	43,994	40,211	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	武庫地区学びと活動推進事業費	1E2U	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	社会教育法、尼崎市自治のまちづくり条例等		展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 令和3年度		
会計	01 一般会計			
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	61 市民活動推進費			
局	総合政策局	課 武庫地域課	所属長名	田岡 清

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	生涯にわたる様々な学びの機会を提供するとともに、地域におけるお互いの顔の見える関係づくり、ひいては地域発意の課題解決や魅力向上の取組が広がる環境づくりを進める。
事業概要	各地区において、学びや交流の場づくりに取り組むにあたり、生涯学習プラザ等で生涯学習事業を展開するとともに、必要に応じ「地域予算」を柔軟に活用していく。
実施内容	・人権・平和学習推進事業：イベント等実施15回、参加人数1,727人 ・家庭・地域子育て力向上支援事業：夏休み子ども向け講座など22講座45回実施、参加人数989人 ・生涯学習推進事業：市民大学、日本語読み書き学級等4講座47回実施、参加人数1,247人 ・地域力創生事業：17講座22回実施、参加人数1,061人 ・ウェルカムパーティ事業：イベント実施9回、参加人数214人 ・市民参加・交流・連携推進事業：5講座21回実施、参加人数868人 ・清流にこころふれあう道づくり事業：拠点整備、イベント、武庫小学校との連携事業等活動回数74回、参加人数754人 ・地域予算事業：mukoキャンパスみんなのホームルーム等4講座実施45回、参加人数710人

②事業成果の点検

目標指標	イベント・講座の参加者数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)								単位	人	
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和2年度	5,472	令和3年度	7,971	令和4年度	7,570
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況： —) ・社会福祉協議会武庫支部と連携し、武庫地区にある12の自主防災会エリアのうち、令和4年度は2エリアで既存の防災マップの情報更新作業に取り組み、参加者同士の顔の見える関係をつくるとともに、防災への意識向上を図った。 ・地域活動の相談、PRの場として月1回実施しているプラットフォーム「mukoキャンパスみんなのホームルーム」が地域住民の交流の場や居場所となり、参加者同士の新たなつながりと新たなコミュニティが形成されている。また、このプラットフォームで、武庫東生涯学習プラザ1階にある喫茶跡地の活用方法についての意見交換も行った。 ・9月に供用開始した宮の北公園では、公園内にある「雨庭」を活用したワークショップとオープニングイベントを令和3年度末以降で計4回開催したところ延べ117名の参加があり、市民や地域事業者、学校等の顔の見える関係づくりにつながった。 ・実施4年目の「オトナのまなびバル」では、西武庫公園で障がい者の作品展示やワークショップの開催など4日間で計11講座を実施したところ延べ139人が参加し、幅広い世代の学びと交流の場となった。また、夏休み中の子ども向けに「むこっ子行きたくなる短期大学(MIT)」として12講座を実施し、390人の参加があった。 【今後の取組方針】(事業の方向性： 維持) ・プラットフォーム「mukoキャンパスみんなのホームルーム」が地域交流の場として定着しつつあり、参加者同士のつながりも生まれているため、引き続き実施していく。 ・定期的な清掃活動やイベントを通じて、地域コミュニティの交流促進と地域とともに育ち続ける公園づくりを目指す。 ・地域住民が講師となることで、講師、参加者双方に学びの機会が生まれた。今後も学びの機会創出を目標に「オトナのまなびバル」等のイベントや、地域特性や課題に合わせた講座等を地域の活動団体との協働により実施していく。 ・新型コロナウイルス感染症の5類移行を受け、地域住民間の交流を活性化させ、親睦を深め、新たなつながりづくりのきっかけとなるような事業を展開していく。										

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	1,686	1,244	1,246	2,577	
報償費	477	623	541	1,128	講師謝礼
需用費	149	160	236	494	消耗品
役務費	12	12	12	26	保険料
委託料	1,048	448	448	748	清流にこころふれあう道づくり事業
その他		1	9	181	旅費、使用料及び賃借料、負担金補助及び交付金
人件費 B	21,261	15,538	17,008	18,638	
職員人工数	2.47	1.95	2.16	2.44	
職員人件費	19,200	14,066	15,583	17,179	
会任等人件費	2,061	1,472	1,425	1,459	
合計 C(A+B)	22,947	16,782	18,254	21,215	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金	300				新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国10/10)
市債					
その他	308	186	80	80	市民福祉振興基金(～R3)、生涯学習プラザ事業収入
一般財源	22,339	16,596	18,174	21,135	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	園田地区学びと活動推進事業費	1E2V	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	社会教育法、尼崎市自治のまちづくり条例等		展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 令和3年度		
会計	01 一般会計			
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	61 市民活動推進費			
局	総合政策局	課 園田地域課	所属長名	坂本 満代

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	生涯にわたる様々な学びの機会を提供するとともに、地域におけるお互いの顔の見える関係づくり、ひいては地域発意の課題解決や魅力向上の取組が広がる環境づくりを進める。
事業概要	各地区において、学びや交流の場づくりに取り組むにあたり、生涯学習プラザ等で生涯学習事業を展開するとともに、必要に応じ「地域予算」を柔軟に活用していく。
実施内容	・人権・平和学習推進事業：ハートフルシネマなど 7講座 7回 219人 ・家庭・地域子育て力向上支援事業：夏休みオープンスクールなど 9講座 22回 299人 ・生涯学習推進事業：市民大学など 15講座 24回 570人 ・地域力創生事業：キャリア教育支援事業など 4講座 12回 1,092人 ・市民参加・交流・連携推進事業：11講座 44回 311人 ・共催事業 22講座 184回 4,662人 ・自然と文化の森プラットフォーム事業：プラットフォーム 2回250人 自然と文化の森協会の事業支援 27回 2,825人 ・ウェルカムパーティ事業：ママカフェ 9回 133人 ・地域予算事業：園田地区プラットフォーム「そのだではなすのだ」(参加者数は市民参加・交流・連携推進事業に計上)、第2回命を守るリハーサルみんなでやろう防災訓練2022(参加者数は共催事業に計上)、DIY講座(参加者数は家庭・子育て力向上支援事業に計上)

②事業成果の点検

目標指標	イベント・講座の参加者数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)								単位	人
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度 令和2年度	3,178	令和3年度	6,361	令和4年度	10,361
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況： —) ・「プラザで学びWeeK」では、親子で和菓子づくりやハンドジェルづくりなどの体験型の講座は人気が高く、参加者同士の交流が生まれやすいことが分かった。 ・自然と文化の森プラットフォーム事業では、地域の自然や歴史的な資源を活用したイベントや園田地区の野菜を販売する農業市を実施し、参加者が園田地域の魅力に触れることができるようにした。 ・地域予算を活用した地域発意の防災訓練では、地域の防災意識の向上を図るとともに、ベトナム語に翻訳したチラシの配布、ベトナム国籍の消防団員の参加によって地域住民が多文化共生を考えるきっかけとなった。									
	【今後の取組方針】(事業の方向性： 維持) ・「プラザで学びWeeK」では生涯学習プラザのみならず、今後は地域の福祉会館での開催や、地域の方が講師となる講座を企画することで、生涯学習プラザに来たことがない方でも気軽に学びに触れることができるきっかけを作る。そのきっかけにより学ぶことに興味を持った方が学びを継続し、学んだことを地域に還元できるよう、学びと活動の循環につなげていく。 ・自然と文化の森プラットフォーム事業では、イベントなどの企画や情報交換の場であるプラットフォームを地域の施設(東園田町総合会館)でも開催することで、新たな参画者と一緒になって考え、新しい取組の実施につなげる。 ・地域コミュニティの仕組みづくりを推進する、より地域の実績に応じた効果的な予算執行について引き続き検討を行う。									

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考) 令和5年度予算	備考
事業費 A	1,017	765	890	1,984	
報償費	563	488	562	1,116	講師謝礼
需用費	446	219	273	619	消耗品等
役務費	8	2	46	55	レクリエーション保険
使用料及び賃借料			1	44	会場使用料
その他		56	8	150	あま咲きコイン、旅費等
人件費 B	35,360	20,351	21,688	29,289	
職員人工数	4.54	2.60	3.00	3.68	
職員人件費	33,310	17,493	19,450	27,485	
会任等人件費	2,050	2,858	2,238	1,804	
合計 C(A+B)	36,377	21,116	22,578	31,273	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	64	120	78	80	市民福祉振興基金(～R3)、生涯学習プラザ事業収入
一般財源	36,313	20,996	22,500	31,193	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	学社連携推進事業費	BZ25	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	社会教育法		展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成27年度		
会計	01 一般会計			
款	50 教育費			
項	35 社会教育費			
目	05 社会教育総務費			
局	教育委員会事務局	課 社会教育課、学び支援課	所属長名	松田 陽子、嶋名 雅之

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	市民の活動や学習を支援し、その取組を充実することで地域での人材育成や資源発掘を行い、その結果を地域社会に活かすことのできる人づくり、仕組みづくりを推進し、子どもたちや地域へ還元する機会の創出を図る。地域での人材育成や資源発掘により、地域ぐるみで子どもを育てるために効果的な学校支援を目指す。
事業概要	地域と学校の連携・協働活動事業、学校図書ボランティア育成事業、特別支援ボランティア養成事業、スクールサポーター人材バンク事業
実施内容	1 地域と学校の連携・協働活動事業 地域の豊かな社会資源を活用して、より効果的な学校支援が行えるよう調整する、地域学校協働活動推進員を全市立小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校に順次配置する。また、地域と学校がパートナーとして連携・協働して行う地域学校協働活動事業の推進を図る。 2 学校図書ボランティア育成事業 小学校の学校図書ボランティアの育成と資質の向上を図るとともに、新たな人材を発掘するため、講演会、研修会、活動発表交流会を実施する。 3 特別支援ボランティア養成事業 特別な支援を必要とする児童・生徒への理解を深めるため、その学びが活動につながるよう、支援を必要としている子ども達をサポートするボランティアを養成する講座を実施する。 4 スクールサポーター人材バンク事業 新たな人材を発掘して登録することにより、地域の教育力向上につなげる。

②事業成果の点検

目標指標	地域の小中学校で行事やボランティア等に参加したことがある人の割合							単位	%
目標・実績	目標値	30.0	達成年度	令和9年度	令和2年度	20.4	令和3年度	24.7	令和4年度 26.9
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況： (概ね)達成) ・尼崎北小学校では地域資産に着目した学習を様々な主体に協力を得て実施するとともに、立花地域課による大学のゼミ生と市民グループの活動コーディネートにより、さらに学習の充実が図られた。これらの同校の地域との連携に係る取組が文部科学大臣表彰を受賞した。 ・高等学校にコミュニティ・スクールを導入し、学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進を図るため、コーディネーターを配置した。また、中学校においては、コミュニティ・スクールを導入するにあたり、これまでの中学校区健全育成協議会で培ってきた地域との連携を活かし、地域学校協働活動につなげるよう道筋をつけることができた。 【今後の取組方針】(事業の方向性： 維持) ・地域学校協働活動の参加者の幅を広げるとともに、活動をより定着させるため、効果等についての情報発信や学校関係者向けの研修を継続して実施する。 ・中学校に地域学校協働活動を導入するにあたり、学校運営協議会設置校においては、地域学校協働活動との一体的推進を支援するとともに、学校運営協議会未設置校においても既存の中学校区健全育成協議会事業を活かし、円滑に活動が導入されるよう支援を行う。								

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考) 令和5年度予算	備考
事業費 A	5,004	5,036	5,302	9,931	
報償費	3,533	3,516	3,298	4,263	コーディネーター謝礼等
需用費	937	536	288	336	地域学協働活動消耗品等
役務費	34	33	34	37	コーディネーター保険料
委託料	500	947	1,678	5,287	地域学校協働活動事業委託料
使用料及び賃借料		4	4	8	研修会会場使用料
人件費 B	10,823	15,454	5,712	4,557	
職員人工数	0.85	1.21	0.42	0.48	
職員人件費	6,607	11,274	3,596	3,687	
会任等人件費	4,216	4,180	2,116	870	
合計 C(A+B)	15,827	20,490	11,014	14,488	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金	1,961	1,929	1,937	3,175	学校・家庭・地域連携協力推進事業費
市債					補助金(国 1/3)
その他					
一般財源	13,866	18,561	9,077	11,313	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	成人教育事業費	BZ41	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	ユネスコ活動に関する法律			展開方向	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度	昭和20年度		
会計	01 一般会計				
款	50 教育費				
項	35 社会教育費				
目	05 社会教育総務費			01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進	
局	教育委員会事務局	課	社会教育課	所属長名	松田 陽子

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	ユネスコ活動を振興するとともに、市民に平和都市宣言の趣旨を啓発するほか、社会教育施設などで実施される平和事業の情報を発信し、平和について考える機運を高める。
事業概要	ユネスコ活動を振興するとともに、平和に係る事業の情報を発信する。
実施内容	1 ユネスコ活動 - ユネスコセミナー(フォーラムの開催) 参加者 59名 - 平和事業(平和の鐘を鳴らそう) 参加者 41名 - 文化アカデミー(郷土愛と平和について考える学習会) 参加者 33名 - コーアクション事業(書き損じはがきキャンペーンの実施により、世界寺子屋運動を支援する) - 尼崎市民、尼崎市内小学校他協力者多数 (実績)日本ユネスコ協会に282,038円送金 - 人権学習講演会 参加者 24名 2 平和教育チラシの作成 各施設で実施する平和事業の情報をチラシにまとめ、市のホームページ(ダイバーシティ推進課)に掲載した。

②事業成果の点検

目標指標	ユネスコ活動事業の参加者数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)								単位	人
目標・実績	目標値	150	達成 年度	毎 年度	令和2年度	35	令和3年度	121	令和4年度	157
事業成果 (達成状況 等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成) ・令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、平和事業(平和の鐘を鳴らそう)は縮小して実施、人権学習講演会は中止とした。令和4年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、平和事業及び人権学習講演会をこれまでに近い形で実施したため、ユネスコ活動事業の参加者数は157名となり、ユネスコ活動の振興を図ることができた。									
	【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・今後もユネスコ活動の振興を図るとともに、平和の大切さを訴えるための様々な活動について、引き続き支援を行う。									

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	38	74	74	74	
負担金補助及び交付金	38	74	74	74	ユネスコ活動事業補助金
人件費 B	2,075	2,828	1,487	1,551	
職員人工数	0.12	0.14	0.13	0.07	
職員人件費	933	1,081	607	538	
会任等人件費	1,142	1,747	880	1,013	
合計 C(A+B)	2,113	2,902	1,561	1,625	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	2,113	2,902	1,561	1,625	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	PTA連合会等補助金	BZ5K	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	—		展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進
事業分類	補助金・助成金	事業開始年度 昭和33年度		
会計	01 一般会計			
款	50 教育費			
項	35 社会教育費			
目	05 社会教育総務費			
局	教育委員会事務局	課 社会教育課	所属長名	松田 陽子

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	尼崎市PTA連合会、尼崎市連合婦人会の活動を支援し、その団体の設立趣旨を実現するために地域に密着した活動を展開することで、活力ある地域コミュニティの醸成を図る。
事業概要	社会教育団体に対し、助成を行い、団体活動の運営支援を図る。
実施内容	1 尼崎市PTA連合会補助金 156,000円 [補助金対象事業] ・児童虐待防止の啓発事業 オレンジリボン運動のステッカーを作成し、各校園のPTA・育友会に配布 ・PTA広報誌の発行事業 各校園(幼・小・中・高等学校)の「広報誌コンクール」を実施(37校園応募 10校園が入賞) 広報紙「PTAあまがさき」第57号を発行(79校園他に計42,000部を配布) 2 尼崎市連合婦人会補助金 184,000円 [補助金対象事業] ・わくわく事業 地域社会の特性を生かし、連携・共催する活動や地域の人々の交流を図り、地域の活性化を図る目的として実施(参加人数 756名)

②事業成果の点検

目標指標	—(本事業は社会教育団体への活動補助として補助金を交付するものであり、適切な成果指標及び活動指標の設定は困難)									単位	—
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和2年度	—	令和3年度	—	令和4年度	—
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: —) ・尼崎市PTA連合会は、児童・生徒の健全な育成を図るための事業を行い、尼崎市連合婦人会は女性の地位向上と地域のコミュニティ作りのための地域活動を展開しており、事業経費の一部補助により団体の設立趣旨に基づいた活動が継続されていることから、補助の目的が達成されている。 【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・尼崎市PTA連合会については、団体の意義の周知につながる活動や活性化につながる活動に対し、引き続き支援する。 ・尼崎市連合婦人会については、地域活動を通して、地域のサークル、自主活動グループや学校(尼崎市PTA連合会)等の地域団体との連携が図られる活動に対し、引き続き支援する。										

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	340	340	340	340	
負担金補助及び交付金	340	340	340	340	尼崎市PTA連合会、尼崎市連合婦人会
人件費 B	1,982	3,279	1,335	1,577	
職員人工数	0.15	0.34	0.09	0.12	
職員人件費	1,166	2,625	690	922	
会任等人件費	816	654	645	655	
合計 C(A+B)	2,322	3,619	1,675	1,917	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	2,322	3,619	1,675	1,917	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	図書館行事業費	C11A	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	図書館法等		展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成2年度		
会計	01 一般会計			
款	50 教育費			
項	35 社会教育費			
目	15 図書館費			
局	教育委員会事務局	課 中央図書館	所属長名	安福 真理子

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	市民の読書意欲を高めるために、各種図書館行事を実施する。特に子どもたちやその保護者などに対しては、読書習慣への動機付けを図るための事業をボランティアとの協働により実施する。
事業概要	市民の読書意欲の向上や子どもたちへの読書週間への動機付けを図るために、各種事業を実施する。
実施内容	親子を対象とした講座や児童対象の行事をボランティアと協働で行うほか、利用頻度が少ない成人層を対象とした講座等を実施し、利用促進及び読書推進を図る。 <令和4年度 主な実績> (講座) ・市内幼稚園への出張講座 11回開催 437人参加 (行事) ・おはなし会(中央 48回開催 1,075人参加、北 32回開催 693人参加) ・乳幼児と保護者向けの読み聞かせ(中央 23回開催 192人参加、北 21回開催 387人参加) ・リサイクルブックフェア(中央及び北図書館にて各1回開催 中央 113人参加、北 144人参加) ・ビブリオバトル尼崎(6回開催 141人参加)

②事業成果の点検

目標指標	図書館行事参加者数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	人
目標・実績	目標値	12,000	達成年度	毎年度	令和2年度	5,172	令和3年度	5,345	令和4年度 8,963
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: やや達成できず) ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止していた行事の多くを、規模の縮小等の対策を講じながら再開し、行事参加者数は目標値には届かないものの大きく増加した。 ・「立花南生涯学習プラザオープニングイベント」及び「みんなの尼崎大学サマーセミナー」において図書館行事を実施したほか、尼崎城址公園での「あままますえ」開催時に司書が読み聞かせを行うなど、関係機関と連携し、普段図書館に来館しない市民にも読書推進を図った。 【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・尼崎市立図書館基本的運営方針に掲げる目標達成に向けて、親子で楽しめる事業や青少年との協働による事業、城内地区での連携事業を実施し、子ども・若者に読書に親しんでもらうとともに、まちの魅力の発信に取り組む。 ・学校図書館や関係団体と連携し、図書館内だけでなく館外での行事実施にも取り組み、市民の読書意欲向上と来館促進を図る。								

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	182	309	354	373	
報償費	47	39	85	103	講師謝礼
需用費	135	270	269	270	行事用消耗品
人件費 B	22,785	15,572	16,269	16,376	
職員人工数	2.30	1.48	1.46	1.45	
職員人件費	17,200	11,429	11,191	11,137	
嘱託等人件費	5,585	4,143	5,078	5,239	
合計 C(A+B)	22,967	15,881	16,623	16,749	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	22,967	15,881	16,623	16,749	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	障がい者等サービス事業費	C11K	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	-		展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 昭和29年度		
会計	01 一般会計			
款	50 教育費			
項	35 社会教育費			
目	15 図書館費			
局	教育委員会事務局	課 中央図書館	所属長名	安福 真理子

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	視覚障がいを持つ市民等が本に親しみを持ち、読書活動を行える環境を整備し、生涯学習の一助となるための事業を実施する。
事業概要	視覚障がい者等に対して、対面朗読の実施や点字図書及び録音図書の郵送貸出を行う。また、視覚障がい者の読書活動をサポートする様々な機器の紹介や、点字作業の実演などの事業を実施し、図書館における障がい者サービスの重要性を市民に啓発する。
実施内容	対面朗読の実施や点字図書・録音図書の郵送による貸出を行う。また、障がい者等を対象とした行事を実施し、公共図書館としてのサービス向上に努める。 <令和4年度 主な実績> (貸出) ・点字図書(利用者数 420人 貸出点数 588点) ・録音図書(利用者数 2,628人 貸出点数 3,358点) (事業) ・対面朗読(延べ127人参加) ・バリアフリー読書展(25人参加) ・人にやさしい読み書き機器展(29人参加)

②事業成果の点検

目標指標	点字図書及び録音図書の利用者数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	人	
目標・実績	目標値	4,500	達成年度	毎年度	令和2年度	3,975	令和3年度	3,490	令和4年度	3,048
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: やや達成できず) ・視覚障がい者に点字図書や録音図書を提供し、一般図書が利用困難な市民に対しても読書活動が行える環境を整備した。 ・利用者の高齢化やインターネットによる録音図書の普及により、利用者が減少している。 【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・インターネットによる録音図書データのダウンロード利用が普及し、利用者は年々減少しているところではあるが、録音図書郵送貸出サービスの需要は一定数あるため、引き続き実施していく。									

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	131	164	160	165	
需用費	131	164	160	165	点字雑誌等
人件費 B	9,573	8,628	8,857	8,818	
職員人工数	1.08	1.01	1.07	1.06	
職員人件費	8,259	7,799	8,202	8,142	
嘱託等人件費	1,314	829	655	676	
合計 C(A+B)	9,704	8,792	9,017	8,983	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	9,704	8,792	9,017	8,983	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	図書等購入事業費	C121	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	図書館法等		展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 昭和25年度		
会計	01 一般会計			
款	50 教育費			
項	35 社会教育費			
目	15 図書館費			
局	教育委員会事務局	課 中央図書館	所属長名	安福 眞理子

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	貸出や閲覧に供するための図書等を購入し、適正な図書館の運営を図る。
事業概要	図書等を選書して購入し、図書館等に配架して利用者に供する。
実施内容	図書館運営のために必要な図書及びAV資料並びに逐次刊行物を購入する。 <令和4年度実績> (図書) ・一般図書(9,091冊 15,436千円) ・児童図書(9,335冊 14,637千円) ・参考図書(895冊 5,989千円) ・AV資料(15本 210千円) (逐次刊行物) ・雑誌(2,277冊 1,911千円) ・新聞(976千円) ・加除式刊行物(395千円) ・電子図書(832タイトル 2,464千円)

②事業成果の点検

目標指標	図書の品揃えに対する満足度							単位	%
目標・実績	目標値	56.7	達成年度	令和9年度	令和2年度	46.3	令和3年度	48.7	令和4年度 53.1
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成) ・限られた予算の中で、利用者のニーズに応えるよう選書を行い、図書等の購入を行った。 ・「あまがさき電子図書館」のコンテンツを追加するとともに、小学校2校をモデル校に指定し電子図書の活用を検証した結果、小学生の利用が増加した。 ・小田北生涯学習プラザ工事のための長期休館や、図書館システム更新に伴う中央・北図書館休館の影響もあり、貸出冊数は減少した。(令和4年度 1,368,517冊 令和3年度 1,434,288冊、令和2年度 1,274,638冊) ・市民1人当たりの蔵書冊数、貸出冊数及び図書購入費は、阪神間各市並びに中核市と比較して依然として低水準にある。 【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・読書推進に繋がる事業を、関係団体とも連携を図りながら図書館内外で行い、図書の貸出を促進する。 ・市内の学校園等との連携を推進し、児童生徒が図書に親しむ機会の創出を図る。 ・自習スペースのみの利用に留まっている若年層に対して、公式アプリやLINE等の新しいサービス、公式Twitterについて周知を行い、貸出利用につなげる仕組みの構築を図る。 ・電子図書の学校での活用方法についてさらなる検証を進め、全市的な利用促進を図る。								

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	32,700	36,998	42,017	37,033	
需用費	3,075	5,737	5,746	5,746	雑誌、新聞、電子書籍等
備品購入費	29,625	31,261	36,271	31,287	図書購入費
人件費 B	26,265	32,587	29,345	29,951	
職員人工数	1.23	1.86	1.52	1.52	
職員人件費	9,019	13,697	10,999	11,023	
嘱託等人件費	17,246	18,890	18,346	18,928	
合計 C(A+B)	58,965	69,585	71,362	66,984	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	22,315	31,260	33,256	37,033	市町村振興協会市町交付金
一般財源	36,650	38,325	38,106	29,951	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	図書館サービス網関係事業費	C12A	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	図書館法等		展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成2年度		
会計	01 一般会計			
款	50 教育費			
項	35 社会教育費			
目	15 図書館費			
局	教育委員会事務局	課 中央図書館	所属長名	安福 真理子

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	市民が誰でも、どこでも、どのような資料でも利用できる環境を整備する。
事業概要	市民の学習活動を支援するため、中央・北図書館、7生涯学習プラザ及びユース交流センター図書室の計10施設を結ぶ図書館情報オンラインシステムにより、市内での自由な図書の貸出・返却及びインターネットを利用した蔵書検索等を可能にする。
実施内容	1 図書館サービス網関係事業費(システム) 中央・北図書館、7生涯学習プラザ及びユース交流センター図書室をネットワーク化し、市民が図書館(図書室)を利用しやすい環境整備に取り組む。 (実績)システム経費 18,850千円(令和4年度)

②事業成果の点検

目標指標	図書館システムを利用した予約件数の割合(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	%
目標・実績	目標値	90.0	達成年度	毎年度	令和2年度	89.0	令和3年度	89.9	令和4年度 89.9
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成) ・図書館システムを導入し、中央・北図書館、7生涯学習プラザ及びユース交流センター図書室をネットワーク化することで、インターネット上での蔵書検索や予約等が可能になり、利便性が向上している。 ・インターネットを利用した図書館サービスを広く周知するなど、利用率向上に向けた取組を講じ、図書館(図書室)の利用促進につなげる必要がある。 ・令和5年1月に新図書館システムを導入し、あわせて図書館ホームページを刷新し、市民の利便性向上を図った。 【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・図書館システムは、阪神間各市だけでなく、大多数の自治体が導入しており、サービスの維持向上のため継続して導入する必要がある。								

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	21,643	23,399	29,020	23,454	
需用費	574	634	612	706	図書貸出券作成等
役務費	13	10	11	14	ボランティア保険料
委託料	1,098	3,360	8,360		書誌情報作成委託料(～R3)、機器移設費
使用料及び賃借料	19,958	19,395	20,037	22,734	図書館システム経費、書誌情報使用料(R4～)
人件費 B	22,027	5,704	6,042	4,394	
職員人工数	0.65	0.61	0.66	0.44	
職員人件費	4,781	4,710	5,059	3,380	
嘱託等人件費	17,246	994	983	1,014	
合計 C(A+B)	43,670	29,103	35,062	27,848	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	19,956	8,978			市町村振興協会市町交付金
一般財源	23,714	20,125	35,062	27,848	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	図書館資料整理事業費	C12K	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	図書館法等		展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成2年度		
会計	01 一般会計			
款	50 教育費			
項	35 社会教育費			
目	15 図書館費			
局	教育委員会事務局	課 中央図書館	所属長名	安福 真理子

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	図書館における行政資料、記録その他新聞等の公共性の高い資料を整理・保存し、利用者の調査研究に寄与する。
事業概要	資料保存のため、市報・新聞の阪神版等の製本及び図書館資料の補修・補強などを行う。
実施内容	資料を良好な状態で利用者に提供するため、経年劣化等により破損・損傷した資料の補修・補強を適宜行う。また、市報あまがさき及び新聞については、製本を行い長期間保存できるように努める。さらに、新聞記事データベース(ヨミダス歴史館)や国立国会図書館デジタルコレクションといったオンラインサービスを活用することで、記事検索を容易にするなど、市民サービスの向上に寄与する。 (実績) 市報あまがさき及び新聞(阪神版)の製本 80千円 バーコード作成費用 35千円 資料整理及び補修用消耗品 273千円 郷土資料(住宅地図等)修繕 68千円

②事業成果の点検

目標指標	—(資料の保存を目的とする事業であるため、適切な目標指標の設定は困難)								単位	—
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度 令和2年度	—	令和3年度	—	令和4年度	—
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: —) ・資料を提供していく中で、経年劣化等による資料の破損・損傷が生じるため、適宜補強・補修を行った。 ・市報あまがさきや、保存年限を経過した新聞に掲載されている阪神間に係る記事のみを抜粋した阪神版の新聞の製本を行い、図書館利用者に提供した。 ・経年劣化していく資料の増加が想定されるため、必要に応じ新規購入や補修等を行っていく必要がある。 【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・今後も、資料の保存・整理を適切に行い、市民の生涯学習につなげていけるよう努める。 ・破損・損傷した資料をいち早く利用者に供することが出来るよう、速やかに補修・補強を行っていく。									

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	312	428	456	523	
需用費	312	428	456	523	新聞、市報製本、バーコード作成等
人件費 B	1,141	2,197	2,176	2,220	
職員人工数	0.02	0.13	0.13	0.13	
職員人件費	155	871	866	868	
嘱託等人件費	986	1,326	1,310	1,352	
合計 C(A+B)	1,453	2,625	2,632	2,743	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	1,453	2,625	2,632	2,743	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名		国際交流事業補助金		102J	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令		尼崎市国際交流事業補助金交付要綱			展開方向	01-2 まちの魅力を高める文化芸術活動の推進	
事業分類		補助金・助成金	事業開始年度	昭和56年度			
会計		01 一般会計					
款		10 総務費					
項		05 総務管理費					
目		05 一般管理費					
局	総合政策局		課	文化振興課		所属長名	苅田 昭憲

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	市民レベルの国際親善や相互理解の促進を目的として、市民の国際交流を促進する事業や、姉妹都市・友好都市との交流を促進する事業、日本語講座などに対して補助金を交付し、市民主体の国際交流を促す。
事業概要	市民レベルの国際親善や相互理解の促進を目的とした国際交流事業に対し、補助を行う。
実施内容	姉妹都市・友好都市その他諸外国の市民や団体及び市内在住外国人との交流を行っている団体(尼崎市国際交流協会)に対して、事業補助を行った。 1 国際交流促進事業 (1)日本語講座(市内施設3か所、受講生300人) (2)日本語学習支援ボランティア養成講座(2回実施 受講生19人) (3)市内在住外国人との交流事業(①着物なりたちツアー14人、②手づくり市15人) (4)日本語スピーチコンテストは新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止 2 情報発信事業 (1)ホームページの運営(概ね1カ月毎に更新、ホームページ閲覧数平均5人/日、閲覧ページ数平均26ページ/日、メールマガジン配信登録件数:270件) (2)情報誌作成(第93号500部発行、会員及び公的施設に配布)

②事業成果の点検

目標指標	補助金交付団体主催の交流イベントや諸外国との交流等のうち、補助対象事業に係る参加人数の合計(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	人	
目標・実績	目標値	400	達成年度	毎年度	令和2年度	66	令和3年度	266	令和4年度	348
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成) ・令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策を講じながら対面での活動を徐々に増やしてきている。ただ、一堂に会して行う日本語スピーチコンテストは令和4年度も実施を見送った。 ・本市の国際交流や多文化共生を取り巻く環境はここ数年で大きく変化しており、外国にルーツを持つ市民への支援や交流に関するニーズが高まっているため、より本市と諸外国との交流や多文化共生を推進していく必要がある。 【今後の取組方針】(事業の方向性: 改善) これまでの補助対象事業に多文化共生事業を加えた要綱を策定し、今後は、市内で国際交流や多文化共生事業に取り組む意欲のある団体に向けて、市報や本市のホームページを通して広く補助金の利用を呼びかけ、支援を行っている。									

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	445	430	233	791	
負担金補助及び交付金	445	430	233	791	
人件費 B	228	263	205	1,008	
職員人工数	0.02	0.02	0.01	0.11	
職員人件費	155	154	77	845	
会任等人件費	73	109	128	163	
合計 C(A+B)	673	693	438	1,799	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	673	693	438	1,799	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	尼崎市文化振興財団補助金等	1F1A	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	—		展開方向	01-2 まちの魅力を高める文化芸術活動の推進
事業分類	補助金・助成金	事業開始年度 昭和49年度		
会計	01 一般会計			
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	63 文化振興費			
局	総合政策局	課 文化振興課	所属長名	苅田 昭憲

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	優れた文化芸術に親しむ機会の提供や豊かな市民文化活動の推進を図るため、市民文化活動の拠点施設である尼崎市総合文化センターを運営する尼崎市文化振興財団に対し、ホール管理費・文化振興事業費等の補助金を交付することで、良質な文化芸術に触れる機会を提供し、市民が文化芸術に親しんでいる状態を目指す。
事業概要	本市文化振興の中核を担う尼崎市文化振興財団に補助金を交付し、文化の向上発展を図る。
実施内容	優れた文化芸術に親しむ機会の提供や豊かな市民文化活動の推進を図るため、以下の事業に対し補助等を行った。 1 運営事業費補助(財団職員人件費・ホール管理費・文化事業費(美術展、団体育成)) 財団の管理運営に係る経費を一部補助することにより、ホール事業27、市民参加事業2、美術展事業4他を行った。 2 文化振興事業費補助(市展・ふれあいギャラリー・文芸祭・尼崎薪能・新人お笑い大賞・How to 歌舞伎) (※富松薪能、演劇祭は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止) 3 郷土画家「白髪一雄」作品発信事業費補助 白髪一雄記念室において作品を広く公開するとともに、市内の小学校等を対象にアウトリーチ事業を実施した。 4 ちかまつ等関係事業費補助(近松ナウ・近松祭・近松賞) 近松ナウ、近松祭の実施を支援し、「近松のまち・あまがさき」をPRするとともに、近松賞は第8回の受賞作品を肥田知浩氏による「宇宙に缶詰」に決定した。 5 施設整備費補助 利用者等の安全を確保するとともに、事故の未然防止、事業の円滑な実施のための施設・設備更新工事等を行った。(ホール棟冷温水発生機修繕、中ホール蓄電池設備更新、ニューアルカイクビル受変電設備機器更新) 6 市民芸術賞・文化功労賞の表彰事業(委託) 市の芸術文化の振興に貢献した人及び市民文化の向上に貢献した人を顕彰した。(R4市民芸術賞 金子浩三氏(音楽)・R4文化功労賞 中嶋千萬城氏(囲碁)、松尾昌美氏(音楽)、渡邊芳翠氏(美術))

②事業成果の点検

目標指標	尼崎市総合文化センター稼働率(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	%		
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和2年度	24.0	令和3年度	44.9	令和4年度	41.2
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: —) ・尼崎市文化振興財団により、総合文化センターにおいて音楽・バレエ・演劇・古典芸能などのホール事業や美術展事業を、また市内の学校園や生涯学習プラザにおいてはアウトリーチ事業、薪能や近松祭などの文化振興事業などを実施し、市民が多様な文化芸術に触れる機会を提供した。 ・文化ビジョン(第2次)の策定に合わせて、市と財団の役割分担を整理した。 ・本市の文化振興を推進していくため、引き続き尼崎市文化振興財団の機能強化や、今後の文化事業の展開についての整理を進めていく必要がある。 【今後の取組方針】(事業の方向性: 改善) 協働契約による市と財団の役割分担に基づき、課題や目標を共有しながら、文化振興事業に取り組む。										

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	287,896	261,919	280,804	280,407	令和5年度からは「尼崎市文化振興財団補助金」に名称変更
委託料	1,415	469	469		市民芸術賞・文化功労賞委託費
負担金補助及び交付金	286,481	261,450	280,335	280,407	
人件費 B	6,452	3,012	4,369	2,458	
職員人工数	0.83	0.39	0.57	0.32	
職員人件費	6,452	3,012	4,369	2,458	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	294,348	264,931	285,173	282,865	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金	2,568	6,722			新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国10/10)
市債					
その他		13,423	12,623	14,652	市町村振興協会市町交付金
一般財源	291,780	244,786	272,550	268,213	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	郷土画家「白髪一雄」発信プロジェクト事業費	1F1C	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	—		展開方向	01-2 まちの魅力を高める文化芸術活動の推進
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 令和元年度		
会計	01 一般会計			
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	63 文化振興費			
局	総合政策局	課 文化振興課	所属長名	苅田 昭憲

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	海外でも評価の高い白髪氏の作品や、本市に所縁の深い人物として白髪氏の人物像を継続して全国にプロモーションしていき、広く周知に取り組む。
事業概要	全国の美術館で本市とゆかりの深い白髪氏の作品の展覧会を行うことにより、本市の魅力をプロモーションする。
実施内容	本市所蔵の白髪一雄作品を全国の美術館で展示する「白髪一雄」発信プロジェクトの第4回として、宮崎県立美術館と本市との共催で特別展を開催した。初期から晩年までの作品を一堂に展示したほか、白髪氏のご遺族にも協力を得て作品・資料を出品し、充実した内容となった。また、宮崎県立美術館所蔵の白髪氏の版画作品や具体美術協会(通称、「具体」と交流のあった当地の美術家が所有していた白髪氏の作品や関係資料が合わせて展示され、当地での開催の意義や「具体」の活動内容への理解が深まる展示となった。 【展覧会概要】 宮崎県立美術館 令和4年5月28日～7月3日(32日間) 「尼崎市コレクション 白髪一雄—行為にこそ総てをかけて—」 尼崎市から69点(市所蔵53点、教育委員会所蔵2点、文化振興財団所蔵1点、白髪氏ご遺族所蔵13点)を出品

②事業成果の点検

目標指標	展覧会の入館者数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	人
目標・実績	目標値	3,000	達成年度	毎年度	令和2年度	2,786	令和3年度	—	令和4年度 1,681
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: 下回った) 新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度は展覧会を実施できなかったが、令和4年度は宮崎県立美術館において展覧会を開催することができた。 しかし、会期が比較的短かったことに加え、コロナ禍ということもありPRが十分でなかったことなどから、目標値は達成できなかった。 【今後の取組方針】(事業の方向性: 改善) 5年間の発信プロジェクト最終年度となる令和5年度には、北九州市立美術館及び新潟県立近代美術館で開催する展覧会の取組を進めていく。また、令和6年度の白髪一雄生誕100年に向けて、記念事業を企画・推進する実行委員会を組織するとともに、プレ事業として白髪氏ゆかりの地案内板の制作・設置、画業をわかりやすく紹介する映像コンテンツの開発・作成、記念ロゴデザインの募集などを実施し、白髪氏の魅力を大きく発信していく。								

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	1,415	154	2,724	7,906	令和5年度からは「白髪一雄生誕100年記念事業費」に名称変更
旅費	137		224	110	宮崎県立美術館への出張旅費
委託料	1,278	154	2,500	5,770	展覧会開催業務委託
負担金補助及び交付金				2,026	
人件費 B	1,788	1,776	2,606	2,842	
職員人工数	0.23	0.23	0.34	0.37	
職員人件費	1,788	1,776	2,606	2,842	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	3,203	1,930	5,330	10,748	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金				2,026	
市債					
その他	1,415	154	2,500	5,770	文化振興基金繰入金
一般財源	1,788	1,776	2,830	2,952	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	文化団体育成補助金	1F1D	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	尼崎市文化団体協議会補助金交付要綱		展開方向	01-2 まちの魅力を高める文化芸術活動の推進
事業分類	補助金・助成金	事業開始年度 昭和40年度		
会計	01 一般会計			
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	63 文化振興費			
局	総合政策局	課 文化振興課	所属長名	苅田 昭憲

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	尼崎市文化団体協議会に対し、補助金を交付し、多彩で創造的な文化活動の促進を図る。
事業概要	尼崎市文化団体協議会に対し、補助金を交付する。
実施内容	市内で活動している文化団体17団体間の連携と協調を図るとともに、地域文化の向上を図るため、尼崎市文化団体協議会に対し、補助金を交付する。(1団体は、令和4年度に事業が実施できなかったため、一部返金対応となった。) 【構成団体】(17団体 順不同) ・尼崎ピアノ音楽協会 ・尼崎市囲碁協会 ・尼崎市合唱連盟 ・尼崎邦舞協会 ・尼崎川柳協会(返金) ・尼崎吟詠協会 ・尼崎皐月協会 ・尼崎市合奏連盟 ・尼崎マンドリン・ギター協会 ・尼崎能楽会 ・尼崎市オーケストラ協会 ・尼崎市吹奏楽連盟 ・尼崎民謡民舞連合協会 ・尼崎邦楽文化協会 ・尼崎市菊花協会 ・尼崎俳句協会 ・尼崎洋舞家協会

②事業成果の点検

目標指標	尼崎市文化団体協議会の加盟団体による実施事業数（適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定）							単位	事業	
目標・実績	目標値	25	達成年度	毎年度	令和2年度	13	令和3年度	15	令和4年度	26
事業成果 （達成状況等）	【成果と課題】（目標に対する達成状況：（概ね）達成） 新型コロナウイルス感染症の影響が徐々になくなってきていることから、各団体の活動がコロナ禍前の水準に戻りつつあるため、市内での活動をより広く行うことができるように引き続き取り組んでいく必要がある。また、各団体の活動を広く市民に知ってもらえるようにPRできる場所を設けていく必要がある。 【今後の取組方針】（事業の方向性：維持） ・各文化団体が単に組織内での活動を行うだけでなく、他団体との連携や協調を図りながら活動することで、市民が文化、芸術に触れる機会の創出に寄与していく。 ・令和5年度は文化団体協議会の構成員を講師としたあまがさき芸術文化体験講座を開催し、多くの市民に各団体の活動を知ってもらう機会とする。									

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	60	56	65	67	
負担金補助及び交付金	60	56	65	67	
人件費 B	265	247	992	1,739	
職員人工数	0.02	0.02	0.03	0.12	
職員人件費	155	154	230	922	
会任等人件費	110	93	762	817	
合計 C(A+B)	325	303	1,057	1,806	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	325	303	1,057	1,806	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	若者の夢創造・発信事業費			1F1E	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	尼崎市文化ビジョン					展開方向	01-2 まちの魅力を高める文化芸術活動の推進
事業分類	ソフト事業	事業開始年度	平成25年度				
会計	01 一般会計						
款	10 総務費						
項	05 総務管理費						
目	63 文化振興費						
局	総合政策局		課	文化振興課		所属長名	荻田 昭憲

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	「尼崎市文化ビジョン」に基づき、若者の夢とチャレンジを応援する事業を実施することで、地域文化を創造する次代の担い手を育成するとともに、まちの魅力を増進する。
事業概要	本市の魅力や地域資源を活用しながら、若い人の夢やチャレンジを応援することを目的とした事業を行う。
実施内容	1 ティーンズサポートチケットPR事業 若者に本物の音楽や舞台などの芸術にふれる機会を提供するため、総合文化センター及びピッコロシアターで実施する公演を若年層が500円で鑑賞できる「ティーンズサポートチケット」のPRを行った。(応募者数93人) 2 尼崎落研選手権 本市には多くのお笑いタレント・落語家が在住し、地域寄席が市内各地で開催されていることから、「お笑い」「落語」も地域資源の一つであると捉え、「尼崎落研選手権」を開催した。(参加大学14校、来場者109人) 3 A-LAB(えーらぼ)運営事業 若手アーティストの発表・創作の場として若い人の夢やチャレンジを応援するため、展覧会などを開催した。展覧会6回(来場者9,081人)、トークイベント4回(うち動画配信2回1,609再生、有観客3回46人)、イベント4回(参加者30人)。また、A-LAB GO+として、全12回のワークショップを各地域の生涯学習プラザとA-LABで行った(参加者156人)。 4 尼崎市文化未来奨励賞 芸術性の高い優秀な作品などを創作し、全国規模の活動を展開している本市ゆかりの若手芸術家を顕彰した。令和4年度は自薦・他薦合わせ12名の応募があり、美術家の小出麻代氏を第5回の受賞者として決定した。また第4回受賞者である落語家の露の団姫氏による発表(来場者509人)及びワークショップ(参加者8人)を開催した。 5 公開レッスンコンサート事業 市内中学・高校の吹奏楽部を対象に、世界的指揮者大植英次氏による公開レッスンコンサートを開催した(来場者768人)。 6 白髪一雄現代美術賞 世界的に評価された本市ゆかりの画家・白髪一雄氏にちなみ、若手アーティストによる先駆的で魅力のある現代美術作品を顕彰した。令和4年度は、第1回の受賞者である林葵衣氏による展覧会とワークショップ4回(来場者数等はA-LAB運営事業に含む。)を開催するとともに、第2回の募集を行った。

②事業成果の点検

目標指標	若者支援を対象にした文化芸術事業への参加者数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	人	
目標・実績	目標値	5,250	達成年度	令和9年度	令和2年度	4,843	令和3年度	4,974	令和4年度	10,643
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成) 2 尼崎落研選手権では全国各地から過去最高の20校から応募があり、全国的に認知を広げることができた。 3 A-LABは、尼崎市ゆかりの彫刻家はしもとみお氏の展覧会及びA-LAB GO+を開催したことで参加者数が増加した。 【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) 引き続き若者の創作・活動・発表の応援を継続していくとともに、文化ビジョン(第2次)に基づき、若者に限定せず、新しいことへチャレンジしようとする多様な人の活動を応援する取組を行っていく。									

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	23,560	23,132	24,118	26,432	令和5年度からは「文化芸術推進事業費」に名称変更
報償費	5,352	5,551	5,069	695	展示会開催謝礼、選考員等謝礼等
需用費	1,472	1,612	1,705	2,905	A-LAB施設維持管理経費等
委託料	15,502	14,779	15,276	20,310	A-LAB運営委託費等
使用料及び賃借料	1,134	1,118	1,118	1,025	レッスンコンサート会場使用料等
その他	100	72	950	1,497	LED化工事、旅費等
人件費 B	13,133	15,577	19,036	9,541	
職員人工数	1.65	1.80	2.34	0.90	
職員人件費	12,825	13,900	17,936	6,913	
会任等人件費	308	1,677	1,100	2,628	
合計 C(A+B)	36,693	38,709	43,154	35,973	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債			700		地域活性化事業債(公共施設LED化)
その他	1,049	1,038	1,046	2,430	文化振興基金繰入金、自販機電気料実費弁償金
一般財源	35,644	37,671	41,408	33,543	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	まちの魅力発信事業費	1F1F	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	—		展開方向	01-2 まちの魅力を高める文化芸術活動の推進
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成21年度		
会計	01 一般会計			
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	63 文化振興費			
局	総合政策局	課	文化振興課	所属長名 苅田 昭憲

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	本市が持つ歴史や伝統、文化や産業などのまちの魅力を増進し、市民などに対し戦略的・効果的に発信する。市民がわがまちに対して愛着と誇りを持ち、事業者や各種団体が、自主的に交流人口拡大に向けた取組を行い、交流人口、活動人口、子育てファミリー世帯を中心とした人口(定住人口)が増加している状態を目指す。
事業概要	集客事業により魅力を増進し、ホームページやSNSにより魅力を戦略的・効果的に発信する。
実施内容	1 Webコンテンツ、パンフレットラックの運営 TwitterやFacebook等による情報発信、市内に設置したパンフレットラックの運営を行った。 2 アート@シビック・ロビー事業 市内公共施設のロビー等で本市が収蔵している美術品を活用した展覧会を開催した。全4期・各期4テーマの展示を本庁舎と生涯学習プラザ等で巡回した。(令和4年度テーマ: 私たちのあまがさき「いま・むかし」したまち編、ものづくり編、つかぐち編、むこのそう編) 3 あまがさき春の音楽祭 コロナ禍で発表機会が減少した音楽活動の活性化を図るとともに、文化ビジョン(第2次)に掲げる「学び・楽しみ・交流する市民を支える」取組として、令和4年度に市民発意で立ち上がった「みんなの尼崎大学軽音楽部」とともに、「あまがさき春の音楽祭」と題し市内各地で音楽イベントを開催した。(弥生Deライブ(田能資料館)、尼崎城サクラ満開杯ライブ(ポートルース尼崎)、他6件)

②事業成果の点検

目標指標	Twitterのフォロワー数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	人	
目標・実績	目標値	9,500	達成年度	令和9年度	令和2年度	—	令和3年度	9,370	令和4年度	9,255
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成) ・Twitterを始めとするSNSによる情報発信について、事業のPRやイベントの告知等を積極的に行った。今後も多くの人に尼崎市の文化・芸術に興味を持ってもらえるよう、発信内容を工夫していく必要がある。 ・アート@シビック・ロビー事業では、生涯学習プラザのロビー等で展示を行い、市民等が身近に芸術に触れられる機会を提供できた。 ・あまがさき春の音楽祭はコロナ禍でライブ活動ができていなかったミュージシャンから実施を喜ぶ声が寄せられた。音楽をテーマにした参加型イベントは愛好者が気軽に参加できる有効なツールであることがわかった。									
	【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・市内の文化・芸術に関する情報について、SNS等の最適な手法を取り入れながら、市内外に戦略的に情報発信していく。 ・様々な公共施設や他事業とのコラボレーションや、地域資源を生かした事業を実施する等、今後も工夫して本市の魅力を発信していく。 ・音楽をテーマにしたイベントを継続して実施していく。									

③事業費

(単位: 千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考) 令和5年度予算	備考
事業費 A	2,009	1,640	1,912	0	令和5年度からは文化芸術推進事業費へ移行
報償費	500	700	490		あまがさき春の音楽祭 出演等謝礼
需用費	1,290	527	737		PAセット、マイク、LEDプリンター等
委託料		200	200		アート@シビック・ロビー委託
使用料及び賃借料	216	210	222		七福神キャラクター使用料等
その他	3	3	263		iMac購入等
人件費 B	4,355	5,909	5,787	0	
職員人工数	0.53	0.58	0.29		
職員人件費	4,120	4,479	2,223		
会任等人件費	235	1,430	3,564		
合計 C(A+B)	6,364	7,549	7,699	0	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	6,364	7,549	7,699	0	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	歴史的公文書等管理・公開事業費	C12N	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	—		展開方向	01-3 歴史遺産の継承と学びの充実
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 令和4年度		
会計	01 一般会計			
款	50 教育費			
項	35 社会教育費			
目	15 図書館費			
局	教育委員会事務局	課 中央図書館	所属長名	安福 真理子

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	中央図書館に所蔵している郷土資料をデジタル化し電子図書館で公開することにより、非来館で尼崎市固有の資料を提供できる仕組みをつくる
事業概要	中央図書館に所蔵している郷土資料をデジタル化し電子図書館で公開する
実施内容	郷土資料として保管している資料のうち、 ①国立国会図書館デジタルアーカイブスで公開されていないもの ②著作権が切れているものをデジタル化の対象とし、385点をデジタル化した。 〔令和4年度歳出決算〕 郷土資料デジタル化業務委託 3,293,125円

②事業成果の点検

目標指標	—(公開に向けた準備段階であり、公開できる資料数が不明であるため、適切な成果指標及び活動指標の設定は困難)								単位	—	
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和2年度	—	令和3年度	—	令和4年度	—
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況： —) ・中央図書館が所蔵する尼崎市に関する郷土資料のうち385点についてデジタル化を行った。公開用のファイル作成が必要であるほか、「あまがさき電子図書館」での公開を予定しているが、公開できる容量が限られているため公開する資料の選定が必要である。										
	【今後の取組方針】(事業の方向性： 維持) ・デジタル化した郷土資料について、公開用のファイルを作成する。また、「あまがさき電子図書館」で順次公開できるよう作業を進める。										

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	0	0	3,293	0	
委託料			3,293		郷土資料デジタル化業務委託
人件費 B	0	0	0	0	
職員人工数					
職員人件費					
会任等人件費					
合計 C(A+B)	0	0	3,293	0	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金			3,293		新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国10/10)
市債					
その他					
一般財源	0	0	0	0	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	文化財保護啓発事業費	C51A	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	文化財保護法、尼崎市文化財保護条例		展開方向	01-3 歴史遺産の継承と学びの充実	
事業分類	法定事業(裁量含む)	事業開始年度			昭和39年度
会計	01 一般会計				
款	50 教育費				
項	35 社会教育費				
目	18 歴史博物館費				
局	教育委員会事務局	課	歴史博物館	所属長名	門田 真由美

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	長い歴史を有する本市に多数現存している史跡・文化財を市民共有の財産として保護・活用していく。埋蔵文化財については、埋蔵文化財包蔵地内での開発事業に際し、事業者や庁内関係課との連絡・調整を密にして、保護・活用を図る。
事業概要	遺跡の発掘調査を実施するとともに、文化財の保護・啓発に努める。
実施内容	1 文化財の保護 - 文化財保護審議会 - 出土遺物保存処理事業 - 市内遺跡発掘調査事業 - 遺跡調査システム導入事業 - 国指定文化財管理事業 - 全国史跡整備市町村協議会等負担金 2 文化財の啓発 - 歴史遺産を活かしたまちの魅力再発見事業

②事業成果の点検

目標指標	指定文化財の毀損・滅失・解除数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)	単位	件
目標・実績	目標値0達成年度毎年度令和2年度0令和3年度0令和4年度0		
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況：(概ね)達成) ・令和4年度において国・県・市指定文化財とも毀損・滅失・解除はなかった。 ・埋蔵文化財については、法令に基づき適切に対応した。 ・歴史遺産を活かしたまちの魅力再発見事業については、3年ぶりに市民向け事業である戦国歴史ウォークを再開した。 【今後の取組方針】(事業の方向性：維持) ・文化財や歴史資料等の収集・調査・整理を進め、地域資産として有効活用できるように保存・公開することにより、地域の歴史を学ぶ環境づくりを進める。 ・歴史遺産を保存し活かす活動に取り組む市民グループ等との連携・協力を進め、地域の歴史遺産の保存・活用を図る。		

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	0	5,259	4,420	9,209	
需用費		515	554	1,160	発掘用品等
委託料		2,579	2,572	4,159	市内遺跡発掘調査作業委託等
使用料及び賃借料		1,037	1,038	1,038	遺跡調査システムリース料
負担金補助及び交付金		126	206	222	国指定文化財管理事業補助金等
その他		1,002	50	2,630	文化財施設火災保険料等
人件費 B	0	37,602	40,559	36,899	
職員人工数		3.98	4.25	3.56	
職員人件費		28,068	29,335	25,394	
会任等人件費		9,534	11,224	11,505	
合計 C(A+B)	0	42,861	44,979	46,108	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金		3,750	3,750	3,750	埋蔵文化財緊急発掘調査事業費補助金(補助率国1/2・県1/4)
市債					
その他		15	18	5,024	文化財保存活用基金繰入金、市政資料等頒布収入
一般財源	0	39,096	41,211	37,334	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	歴史博物館資料保存事業費	C51N	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	—		展開方向	01-3 歴史遺産の継承と学びの充実
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成13年度		
会計	01 一般会計			
款	50 教育費			
項	35 社会教育費			
目	18 歴史博物館費			
局	教育委員会事務局	課 歴史博物館	所属長名	門田 真由美

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	歴史資料等の収集・保管を行うことにより地域資産の保存・活用を図り、地域の歴史に根差した文化活動の促進に寄与する。
事業概要	歴史資料を地域資産として保存・活用するため、資料の購入を行う。
実施内容	歴史博物館資料保存事業 ・尼崎の歴史にゆかりのある歴史資料等を寄贈・寄託等により収集し保管する。 ・教育振興基金を活用し、歴史博物館に展示・収蔵する資料の購入を行う。 ・令和5年3月末現在の資料収蔵状況…1,620件、27,419点 (令和4年度購入実績) 備品購入費 細川高国書状 消耗品費 兵庫県立尼崎病院竣工記念絵葉書、図書等

②事業成果の点検

目標指標	収蔵資料数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)							単位	点		
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和2年度	27,327	令和3年度	27,407	令和4年度	27,419
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: —) ・市民からの寄贈等による資料収集を行ってきたため収蔵資料は増加している。 ・令和3年度より教育振興基金を活用し、歴史博物館資料の購入を行っている。 【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・購入等による歴史博物館資料の収集を継続的に進めることにより、歴史博物館の展示や収蔵資料の充実を図っていく。										

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	0	997	1,000	1,200	
需用費		612	175	700	資料購入等
備品購入費		385	825	500	資料購入等
人件費 B	0	4,289	3,874	4,561	
職員人工数		0.59	0.59	0.78	
職員人件費		4,289	3,874	4,561	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	0	5,286	4,874	5,761	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他		997	1,000	1,200	教育振興基金繰入金
一般財源	0	4,289	3,874	4,561	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	歴史博物館展示事業費	C521	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	—		展開方向	01-3 歴史遺産の継承と学びの充実
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成26年度		
会計	01 一般会計			
款	50 教育費			
項	35 社会教育費			
目	18 歴史博物館費			
局	教育委員会事務局	課 歴史博物館	所属長名	門田 真由美

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	歴史博物館が所蔵する資料を広く公開し、市民の尼崎の歴史や文化財への関心を高めるとともに、尼崎の魅力発信やシビックプライドの醸成に資する。
事業概要	歴史博物館が所蔵する資料等を活用した特別展・企画展を開催する。尼崎の歴史や文化財に関わるテーマで、他都市博物館等から借用した文化財・歴史資料も活用した特別展を開催し、市内外から多くの来館者を迎え、特別展を通じて本市の深くて長い歴史や豊富な文化財をPRする。
実施内容	○特別展 ・第2回「初代尼崎市長櫻井忠剛と勝海舟・川村清雄」 会期：令和4年10月1日～11月30日(52日間)、入館者数6,856人 ○企画展 ・第5回企画展「-まだまだ謎だらけ-ここまでわかった富松城」「地域の宝・富松城跡一保存活用の軌跡」 会期：令和4年4月23日～9月4日(116日間)、入館者数 13,717人 ・第6回企画展「伝えたい尼崎の伝説Ⅱ 茨木童子と秀吉」 会期：令和4年7月9日～9月4日(50日間)、入館者数 6,137人 ・第7回企画展「ダンスホールのまち尼崎」「むかしのくらし むかしの小学校」 会期：令和5年1月7日～3月26日(68日間)、入館者数11,210人 ○常設展 通年開館(開館日数308日間)、入館者数39,351人

②事業成果の点検

目標指標	歴史博物館年間入館者数							単位	人	
目標・実績	目標値	50,000	達成年度	令和9年度	令和2年度	24,579	令和3年度	45,171	令和4年度	39,351
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: やや達成できず) ・令和4年度は308日間開館し、歴史博物館入館者は年間合計39,351人であった。 ・特別展1回と企画展3回を計画どおり開催できた。 【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・特別展は、歴史博物館を代表する催しであり、集客効果も高いので、今後も、他博物館等からの借用資料も活用し、継続的に開催していく。 ・企画展は、歴史博物館が収蔵する資料を活用し、本市の歴史や文化財を観覧者に広くPRするための企画であり、今後も継続的に年間3回程度、開催していく。 ・常設展は、展示内容を定期的に更新しながら、通年で公開していく。									

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	0	5,885	3,117	4,012	
報償費		63	41	63	講師謝礼
旅費		51	60		旅費
需用費		1,674	1,443	1,159	消耗品費・印刷製本費
委託料		4,097	1,573	2,790	展示資料運搬列品委託等
人件費 B	0	12,274	11,299	9,889	
職員人工数		1.56	1.49	1.40	
職員人件費		11,380	10,254	8,803	
会任等人件費		894	1,045	1,086	
合計 C(A+B)	0	18,159	14,416	13,901	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他		146	102	140	市政資料頒布収入
一般財源	0	18,013	14,314	13,761	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	歴史博物館教育普及事業費	C529	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	—		展開方向	01-3 歴史遺産の継承と学びの充実
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 令和3年度		
会計	01 一般会計			
款	50 教育費			
項	35 社会教育費			
目	18 歴史博物館費			
局	教育委員会事務局	課 歴史博物館	所属長名	門田 真由美

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	市民と協働で体験学習活動や出土資料の整理作業等を実施し、教育普及活動をすることにより、市民が尼崎の歴史に関心を持ち、地域の歴史に根差した文化活動の促進に寄与する。
事業概要	地域の歴史に関わる各種体験学習活動を市民と協働で実施するなど、教育普及事業を行う。
実施内容	1 歴史博物館市民協働事業（参加者延人数）計1,362人 ・文化財資料保存活用サポートボランティア 470人 ・れきし体験学習ボランティア 892人 2 歴史博物館教育普及事業（参加者延人数）計1,023人・計37校 ・水曜歴史講座 693人 ・夏休みこども歴史教室 4人 ・体験学習室オープンデイ 326人 ・総合的学習支援(栽培・活用支援)、小学校団体見学 計37校 3 兵庫県博物館協会等会費

②事業成果の点検

目標指標	教育普及事業の参加者延べ人数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	人
目標・実績	目標値	2,512	達成年度	令和9年度	令和2年度	—	令和3年度	1,218	令和4年度 2,385
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況： (概ね)達成) 市民協働事業、教育普及事業ともに、ボランティア活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度に中止した活動を感染症対策に意を用いて活動することで、参加人数を増やすことができた。 【今後の取組方針】(事業の方向性： 維持) ・市民と協働で地域の歴史に根差した、より一層の文化活動の促進に寄与する。 ・当事業に属するボランティアの養成と参画促進、活性化に取り組むとともに市民グループとの協働も図り、市民と共に歩む博物館を創出していく。								

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	0	354	412	531	
需用費		108	108	117	ボランティア活動用消耗品
役務費		36	39	122	ボランティア保険料等
使用料及び賃借料		160	215	242	駐車場使用料
負担金補助及び交付金		50	50	50	会費
人件費 B	0	8,635	8,173	7,136	
職員人工数		1.17	1.32	1.20	
職員人件費		8,635	8,173	7,136	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	0	8,989	8,585	7,667	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	0	8,989	8,585	7,667	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	あまがさきアーカイブズ推進事業費		C52A	施策	01 地域コミュニティ・学び		
根拠法令	公文書館法、尼崎市立歴史博物館の設置及び管理に関する条例				展開方向		
事業分類	ソフト事業	事業開始年度	昭和46年度				
会計	01 一般会計						
款	50 教育費						
項	35 社会教育費						
目	18 歴史博物館費						
局	教育委員会事務局			課	歴史博物館	所属長名	門田 真由美

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	公文書館法等の定めるところにより、古文書・近現代文書類、刊行物、地図、写真等の歴史資料を市民共有の地域資源として収集・保存・公開し、市民の利用に供していく。これにより、市民の地域への理解・関心・愛着をはぐくみ、協働による地域づくり、市民社会の実現に資する。
事業概要	尼崎地域の古文書等歴史資料を収集・整理・保存し後世に伝え、市民・研究者等に公開し、活用を図る。
実施内容	〔令和4年度末現在、史料所蔵点数〕 古文書・近現代文書類2,748件155,544点 その他を含む所蔵点数合計298,054点 〔令和4年度の実施事項〕 古文書・近現代文書類等の歴史資料の調査、収集、整理、公開 Web上における古文書類他史料目録データ公開の拡充 市民ボランティアによる整理作業の実施 ボランティア作業実績 180回 延べ288人 (令和3年度実績: 149回 延べ186人) 歴史博物館紀要『地域史研究』第122号の発行 600部 学校・図書館・公文書館・博物館等への配布及び頒布

②事業成果の点検

目標指標	年間相談利用人数(適切な成果指標の設定は困難なため、活動指標を設定)							単位	人	
目標・実績	目標値	2,345	達成年度	令和9年度	令和2年度	1,623	令和3年度	2,293	令和4年度	2,229
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成) ・令和3年度実績とほぼ同水準の利用人数であり、地域研究史料館時代の平成29年度数値である2,345人に近い利用実績を記録することができた。 ・市民ボランティア等の参加協力を得て、古文書・近現代文書等各種史料の調査、収集、整理、公開を進めるとともに、Web上における目録データ公開の拡充に努めた。あわせて、調査研究成果のアウトプットとして、歴史博物館紀要『地域史研究』第122号を発行し、学校・図書館等関係機関に配布、一般読者向けに頒布した。 【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・引き続き各種資料の調査、収集、整理、公開、及び利用者サイドに立っただいいいなレファレンスサービスの実施に努めるとともに、ウェブサイト、SNS等を積極的に活用した情報発信、利用促進に努めていく。 ・デジタル・アーカイブの実装化や、図書館との連携(MLA連携)による検索サービス機能の充実・向上などにより、利便性の向上を図っていく。									

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	0	2,458	1,612	1,834	
需用費		1,194	651	908	史料購入費、紀要印刷製本費等
役務費		137	137	138	サーバー回線経費
委託料		186			歴史資料電子化
使用料及び賃借料		728	465	475	マイクロフィルムスキャナーリース料等
その他		213	359	313	原稿料等
人件費 B	0	34,664	27,098	27,582	
職員人工数		1.89	1.80	2.10	
職員人件費		12,995	12,869	14,830	
会任等人件費		21,669	14,229	12,752	
合計 C(A+B)	0	37,122	28,710	29,416	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他		165	346	181	市政資料等頒布収入
一般財源	0	36,957	28,364	29,235	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	歴史的公文書等管理・公開事業費		C52D	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	尼崎市公文書の管理等に関する条例			展開方向	01-3 歴史遺産の継承と学びの充実
事業分類	ソフト事業	事業開始年度	令和4年度		
会計	01 一般会計				
款	50 教育費				
項	35 社会教育費				
目	18 歴史博物館費				
局	教育委員会事務局	課	歴史博物館	所属長名	門田 真由美

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	令和4年度に施行する「尼崎市公文書の管理等に関する条例」にのっとり、本市が保存する特定歴史的公文書を市民共有の知的資源と位置付け、市民の利用請求権を定めることにより、市として現在と将来の市民への説明責任を果たしていく。
事業概要	本市が作成・保存する公文書から特定歴史的公文書を選別して歴史博物館に移管し、整理したうえで利用に供する。
実施内容	[令和4年度末現在、特定歴史的公文書等所蔵点数] 紙簿冊15,967冊 電子文書3,813冊 行政資料 4,200点 [令和4年度末現在、特定歴史的公文書目録掲載、利用請求対象点数] 紙簿冊2,199冊 [令和4年度の利用実績] 利用請求件数(人数) 31件(人) 利用簿冊冊数 58冊 [令和4年度、特定歴史的公文書電子化実績] 435冊

②事業成果の点検

目標指標	歴史的公文書整理・公開点数							単位	点	
目標・実績	目標値	22,000	達成年度	令和6年度	令和2年度	—	令和3年度	—	令和4年度	2,199
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: 下回った) ・制度開始初年度の令和4年度、特定歴史的公文書の整理・目録掲載に努めた。令和6年度設定の目標値に向けて、引き続き作業を進めていく。 ・特定歴史的公文書利用請求制度を開始し、大学関係等の学習・研究利用を中心に利用促進に努めた結果、年度を通して計31件(人)58冊の利用実績を得た。引き続き利用促進に努める。 【今後の取組方針】(事業の方向性: 改善) ・令和6年度設定の目標値達成に向けて、引き続き特定歴史的公文書の整理作業を進める。 ・引き続き利用促進に努めるとともに、電子化した特定歴史的公文書をデジタルアーカイブに公開することにより、ウェブ環境利用における閲覧利用を実現していく。									

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	0	0	9,588	3,200	
需用費			321	378	保存用品等購入費
委託料			8,486	1,215	歴史的公文書デジタル化業務委託
使用料及び賃借料			781	1,607	基幹業務システム経費等
人件費 B	0	0	6,621	8,005	
職員人工数			0.20	0.42	
職員人件費			1,533	2,836	
会任等人件費			5,088	5,169	
合計 C(A+B)	0	0	16,209	11,205	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金			8,975		新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国10/10)
市債					デジタル田園都市国家構想交付金(国1/2)
その他					
一般財源	0	0	7,234	11,205	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名		MLA連携推進事業費		C52E	施策	01 地域コミュニティ・学び				
根拠法令		尼崎市立歴史博物館の設置及び管理に関する条例				展開方向	01-3 歴史遺産の継承と学びの充実			
事業分類		ソフト事業	事業開始年度	令和4年度						
会計		01 一般会計								
款		50 教育費								
項		35 社会教育費								
目		18 歴史博物館費								
局	教育委員会事務局			課	歴史博物館			所属長名	門田 真由美	

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	次期総合計画にもその趣旨が記載されているMLA連携(博物館(M)、図書館(L)、文書館(A)の協力・連携活動)を推進し、市民の学びを支える環境を整備する。
事業概要	歴史博物館所蔵等の歴史資料の電子化を実施するとともに、これをウェブ公開していくためのデジタルアーカイブを運用していく。
実施内容	〔令和4年度実施実績〕 歴史博物館と図書館の蔵書データベースを一本化し相互利用を図るため、歴史博物館が所蔵する58,000冊にバーコードを貼付するとともに、書誌データを作成した。

②事業成果の点検

目標指標	デジタルアーカイブに公開する資料件数							単位	件	
目標・実績	目標値	900	達成年度	令和7年度	令和2年度	—	令和3年度	—	令和4年度	—
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)									
	・令和4年度は、市立図書館のシステムに歴史博物館所蔵図書データを登載するための準備作業を進めた。									
事業成果 (達成状況等)	【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)									
	・令和5年度以降、歴史博物館等所蔵歴史資料の電子化を実施し、デジタルアーカイブに掲載していく。 ・市立図書館の蔵書検索システムに歴史博物館所蔵図書データを掲載していく。									

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	0	0	12,414	1,012	
報償費				90	資料調査指導等謝礼
委託料			12,414	482	歴史資料電子化
使用料及び賃借料				440	デジタルアーカイブ運用
人件費 B	0	0	0	254	
職員人工数				0.05	
職員人件費				254	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	0	0	12,414	1,266	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金			12,414		新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国10/10)
市債					
その他					
一般財源	0	0	0	1,266	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	田能資料館展示事業費	C532	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	—		展開方向	01-3 歴史遺産の継承と学びの充実
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 昭和46年度		
会計	01 一般会計			
款	50 教育費			
項	35 社会教育費			
目	18 歴史博物館費			
局	教育委員会事務局	課 歴史博物館	所属長名	門田 真由美

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	国史跡に指定されている田能遺跡にみられる弥生文化と他地域との関連・波及状況、弥生時代の人々の生活や技術・文化の発展などを紹介し、弥生文化の重要性について周知を図ることにより、文化財及び郷土文化に対する市民の関心を高める。
事業概要	田能資料館で、田能遺跡や弥生文化などをテーマとした企画展を開催する。
実施内容	○企画展 「よみがえる高床倉庫」 会期:令和5年1月17日～3月26日 観覧者数:5,269人 関連事業:展示解説

②事業成果の点検

目標指標	田能資料館年間入館者数	単位	人
目標・実績	目標値 33,000 達成年度 令和9年度 令和2年度 — 令和3年度 27,307 令和4年度 31,108		
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成) - 新型コロナウイルス感染症の緊急事態措置が発令されなかったことに加え、資料館においての実施事業の内容を見直すことにより、令和3年度に比べ来館者の増につながった。 【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) - 当事業は、令和2年度までの「特別展事業」を令和3年度に「田能資料館展示事業」に再編した。 - 事業参加者数の確保はもとより、より魅力ある内容の展覧会を開催できるよう取組を進める。		

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	0	217	300	350	
需用費		217	300	299	企画展パンフレット印刷費等
使用料及び賃借料				51	パソコンソフト使用料
人件費 B	0	2,540	1,431	1,208	
職員人工数				0.02	
職員人件費				154	
会任等人件費		2,540	1,431	1,054	
合計 C(A+B)	0	2,757	1,731	1,558	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	0	2,757	1,731	1,558	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	田能資料館教育普及事業費	C53B	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	—		展開方向	01-3 歴史遺産の継承と学びの充実
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 令和3年度		
会計	01 一般会計			
款	50 教育費			
項	35 社会教育費			
目	18 歴史博物館費			
局	教育委員会事務局	課 歴史博物館	所属長名	門田 真由美

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	弥生文化をより身近なものとして理解するため、古代のくらしを体験できる学習会等の事業を展開して弥生時代の人々の生活や技術・文化の発展に対する認識を新たに、市民の歴史学習を支援するとともに、文化財に対する関心を高める。
事業概要	田能資料館で、勾玉づくりや石の鍬づくりなどを体験する学習会等を開催する。また、市民ボランティアの育成・運営を行う。
実施内容	○古代のくらしを体験できる事業を展開する。 ・勾玉をつくろう(計20人)、弥生土器をつくろう(計8人)、石のやじりをつくろう(計10人)、銅鏡をつくろう(計13人) ・ゴールデンウィークは田能資料館へ行こう(計245人)、はっぴいたのういん(計117人) ○田能遺跡サポーター(市民ボランティア)との協働による事業実施、研修、ボランティア保険の加入 ○出張体験講座・講演(計4回) ○小学校等とのオンライン授業(計3回)

②事業成果の点検

事業成果の概要										
目標指標	事業参加者数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	人	
目標・実績	目標値	340	達成年度	令和9年度	令和2年度	—	令和3年度	170	令和4年度	413
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成) ・体験学習会については、新型コロナウイルス感染症対策のため、参加人数の定数制限を行った分、実施回数を増やして実施した。また、屋外で事業を実施するなどの工夫に取り組んだ結果、天候にも恵まれ参加者が見込どおり集まった。 ・来館ができない小学校等とのオンライン授業を令和3年度と同様に取り組んだ(計4回)ほか、出張授業(計4回)を行った。									
	【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・当事業は、令和2年度までの「古代のくらし体験学習会事業」「田能遺跡サポーター養成事業」を令和3年度に「田能資料館教育普及事業」に再編した。 ・弥生時代の生活文化を子どもから大人まで学べる貴重な体験学習の場の提供は、田能資料館が開館以来取り組んできた事業であり、今後とも継続的に実施していくことができるよう、田能遺跡サポーターとの協働も含めて取組を進めていく。 ・小学校等とのオンライン授業等、来館が難しい状況にある施設に対して、教育普及活動の実践に努める。									

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	0	689	415	510	
報償費		90	80	113	講師謝礼
需用費		595	167	268	デジタルカメラ等
役務費		3	50	54	Wi-Fi通信費
委託料				65	田能遺跡まつり委託料
その他		1	118	10	旅費、備品購入
人件費 B	0	4,115	2,146	2,202	
職員人工数		0.11		0.03	
職員人件費		849		230	
会任等人件費		3,266	2,146	1,972	
合計 C(A+B)	0	4,804	2,561	2,712	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他				61	市政資料等頒布収入
一般財源	0	4,804	2,561	2,651	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	「スポーツのまち尼崎」促進事業費	CA1A	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	—		展開方向	01-4 スポーツに親しむ機会の充実
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成9年度		
会計	01 一般会計			
款	50 教育費			
項	40 保健体育費			
目	15 社会体育費			
局	教育委員会事務局	課	スポーツ推進課	所属長名 山本 正巳

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	スポーツの全国大会等を誘致することにより、市民のスポーツへの参加意識の高揚と競技力の向上を促進し、「スポーツのまち尼崎」をアピールすることでイメージアップを図る。		
事業概要	スポーツの全国大会等の誘致及び開催、スポーツのまち尼崎フェスティバルに係る施設使用料の支出、トップアスリートとの交流。		
実施内容	全国大会等の誘致のため、大会主催団体との折衝、関係機関との調整、大会の広報等の業務を行う。		
		誘致大会名	観戦者数(人)
	1	JD.LEAGUE 第4節 尼崎大会	941
	2	内閣総理大臣杯争奪第60回記念西日本実業柔道団体対抗大会	0
	3	(一社)全日本実業団空手道連盟第2回西日本地区大会	950
	4	近畿6人制バレーボール大会	3,200
	5	第2回全日本実業団空手道選手権大会	700
	6	全日本実業団少林寺拳法連盟設立50周年記念大会	183
	7	2022年度全日本学生柔道体重別団体優勝大会(男子24回 女子14回)	2,490
	8	T.LEAGUE	1,209
	9	2022-23 V.LEAGUE DIVISION1 WOMEN	2,800
	10	2022-23 Wリーグレギュラーシーズン	1,000
		合計	13,473

②事業成果の点検

目標指標	全国大会等の観戦者数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	人
目標・実績	目標値	30,000	達成年度	令和9年度	令和2年度	2,100	令和3年度	5,768	令和4年度 13,473
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: 下回った) ・昨年度は2大会が中止、1大会は無観客であったが、今年度は大会中止がなく、無観客の大会が1大会にとどまった。 ・無観客の大会が1大会あったものの、新たにT.LEAGUE(卓球)の誘致を行い、10大会を予定通り開催し、観戦者は7,705人増加した。 ・市民の関心が高い大会の誘致に努めるほか、大会が競技の魅力を知らせきっかけとなるよう、情報・魅力発信に努める必要がある。 【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・T.LEAGUE等において、大会主催者と協力して市民割引を行うことにより、スポーツの魅力を直接会場で体感できる機会を提供するなど、観戦をきっかけとして、スポーツへの関心や参加意欲を高めていく。								

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	5,546	7,674	9,538	10,485	
報償費			2	2	
委託料	4,606	4,981	5,381	5,381	事業委託料
使用料及び賃借料	940	2,693	4,154	5,095	有料公園等施設使用料
役務費			1	7	
人件費 B	466	1,776	2,547	1,997	
職員人工数	0.06	0.23	0.40	0.26	
職員人件費	466	1,776	2,547	1,997	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	6,012	9,450	12,085	12,482	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	6,012	9,450	12,085	12,482	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	ふれあいスポーツ推進事業費	CA2A	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	—		展開方向	01-4 スポーツに親しむ機会の充実
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成12年度		
会計	01 一般会計			
款	50 教育費			
項	40 保健体育費			
目	15 社会体育費			
局	教育委員会事務局	課	スポーツ推進課	所属長名 山本 正巳

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	記念公園総合体育館ヘルスエリアに体格に合わせて調節のできるトレーニングマシンや車椅子利用者も利用できるトレーニングマシン等を設置するとともに、トレーニングの実技指導を行うことにより、市民の体力向上や健康の保持増進を図る。
事業概要	トレーニングマシンの設置、トレーニング指導・健康相談等業務の実施。
実施内容	1 トレーニング指導等業務…トレーニング指導や利用者の個人プログラムの作成等を行う。 (利用人数)トレーニング室利用人数 66,278人 (委託先)尼崎市スポーツ振興事業団 (実績)31,489千円 2 トレーニング機器の設置…トレーニング機器をリース契約し、トレーニング室に設置する。 (実績)3,232千円

②事業成果の点検

目標指標	トレーニング指導業務の利用者数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	人	
目標・実績	目標値	103,916	達成年度	令和9年度	令和2年度	52,067	令和3年度	59,196	令和4年度	66,278
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: やや達成できず) ・令和4年度は時間短縮営業や臨時休館を行わなかったことから、利用人数は昨年度と比べて7,082人増加したものの、コロナ禍以前の水準には戻っていない。 ・トレーニング機器の老朽化が進んでおり、安全確保の観点からも、計画的な更新が必要である。									
	【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・トレーニング指導事業は、市民の健康維持や競技力の向上につながり、また誰もが気軽に利用することができる事業であることから、継続して事業を実施する。 ・令和5年度はトレーニング機器を数台更新する予定である。機器の更新及び感染症対策を十分に講じることにより、安心・安全な事業運営を行い、利用者数の回復及び増加を目指す。									

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	35,292	34,830	34,721	35,824	
委託料	30,951	30,951	31,489	31,489	トレーニング指導等業務委託料
使用料及び賃借料	4,341	3,879	3,232	4,335	トレーニング機器のリース料等
人件費 B	1,321	849	661	1,536	
職員人工数	0.17	0.11	0.12	0.20	
職員人件費	1,321	849	661	1,536	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	36,613	35,679	35,382	37,360	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	36,613	35,679	35,382	37,360	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	生涯スポーツ・レクリエーション事業費	CA31	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	—		展開方向	01-4 スポーツに親しむ機会の充実
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成4年度		
会計	01 一般会計			
款	50 教育費			
項	40 保健体育費			
目	15 社会体育費			
局	教育委員会事務局	課	スポーツ推進課	所属長名 山本 正巳

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	スポーツやレクリエーション活動に親しむ機会を市民に提供することにより、市民の健康の保持・増進に寄与するとともに、スポーツ・レクリエーション活動の普及・推進を図る。
事業概要	レクリエーション活動の場を提供する月例事業、スポーツ推進委員による指導者の派遣や市内公園での軽スポーツの指導、地区体育館におけるスポーツ用具の貸出を行う。
実施内容	1 月例事業…ジョギングや史跡めぐり等、市民が気軽に参加できるスポーツ・レクリエーション事業を実施する。 (参加人数)842人 (委託先)尼崎市レクリエーション協会 (実績)225千円 2 スポーツ要請指導…地域団体等からの要請に応じ、スポーツ推進委員による健康づくりのための指導を行う。 (利用人数)1,294人 3 さわやか地域スポーツ活動…スポーツ推進委員により、市内の公園でのスポーツの実技指導を行う。 (参加人数)3,554人 4 スポーツ用具貸出…地区体育館においてグラウンド・ゴルフやペタンク等の用具貸出を行う。 (利用人数)924人

②事業成果の点検

目標指標	生涯スポーツ・レクリエーション事業の参加者数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	人
目標・実績	目標値	11,000	達成年度	令和9年度	令和2年度	4,144	令和3年度	5,202	令和4年度 6,614
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: やや達成できず) ・月例事業について、全36回中33回の実施となったが、昨年度に比べ実施回数が7回増え、参加者数も277人増加した。また、スポーツ要請指導はスポーツイベントの実施回数が増え、利用人数は1,070人増加した。 ・さわやか地域スポーツ活動については、参加者数が663人増加した。また、自主グループも形成された。 ・スポーツ用具貸出においては、昨年実施した塚口・大島小学校のニュースポーツ体験授業が無かったことから、小学校への貸出が減少し598人の減となった。 【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・生涯スポーツ・レクリエーション事業は、市民が気軽にスポーツやレクリエーション活動に親しむことができる場となっており、生涯スポーツの推進等に必要となるため、継続して事業を実施する。 ・月例事業において、参加者の増加を図るため、参加者に好評であったコースは継続し、新たな魅力あるコース設定の検討を行う。 ・さわやか地域スポーツ活動は、新しい種目モルックがペタンクとともに定着したことから、実施公園の近隣へのチラシ配布により一層の新規参加者の増を目指す。 ・スポーツ用具貸出においては、これまで貸出実績のある小学校を中心に利用促進を図る。								

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	836	420	410	501	
報償費	2	4		18	研修講師謝礼
旅費			9	120	出張旅費
需用費	673	209	153	97	被服・消耗品費等
委託料	150	202	225	230	端末リース・月例事業委託料
使用料及び賃借料	11	5	23	36	地区体育館使用料
人件費 B	2,489	2,625	1,763	3,994	
職員人工数	0.39	0.34	0.23	0.52	
職員人件費	2,489	2,625	1,763	3,994	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	3,325	3,045	2,173	4,495	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	3,325	3,045	2,173	4,495	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	市民スポーツ振興事業費	CA3K	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	—		展開方向	01-4 スポーツに親しむ機会の充実
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 昭和20年度		
会計	01 一般会計			
款	50 教育費			
項	40 保健体育費			
目	15 社会体育費			
局	教育委員会事務局	課	スポーツ推進課	所属長名 山本 正巳

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	スポーツ指導者の養成や優秀な成績を収めた選手等に対する表彰等、スポーツを行う者を支援する事業を実施することにより、本市のスポーツの推進と競技力の向上を図る。
事業概要	全国大会等に出場する市民に対する激励金の支給、優秀な成績を収めた選手や功績のあった指導者に対する表彰、スポーツ指導者の養成、スポーツ団体の指導者に対する傷害保険の加入事業を行う。
実施内容	1 スポーツ振興激励金事業…全国大会等に出場する市民等に対し、大会区分に応じた激励金を支給する。 (支給人数)305人 2 スポーツ指導者養成事業…スポーツ指導者の育成のため、大学教授や著名人による講習会等を実施する。 (参加人数)種目別指導者講習会1,459人、スポーツ指導者講演会中止、スポーツ指導者養成講習会55人 3 スポーツ指導者傷害保険加入事業…スポーツ団体の指導者を傷害保険に加入させる。 (保険加入人数)268人 4 スポーツ顕彰事業…優秀な成績を収めた選手や功績のあった指導者に対し表彰を行う。 (1)体育功労者表彰 (被表彰者数)3人 (2)スポーツ特別賞 (被表彰者数)スポーツ特別賞4人

②事業成果の点検

目標指標	スポーツ振興激励金の支給者数等(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)	単位	人
目標・実績	目標値 3,200 達成年度 令和9年度 令和2年度 995 令和3年度 1,314 令和4年度 2,094		
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: やや達成できず) ・スポーツ振興激励金事業は、全国大会等出場による申請者が昨年度と比べて6人減少したが、国際大会出場による申請者が昨年度と比べて7名増加した。 ・スポーツ指導者講習会は人数制限にて実施したが、上半期に予定していたスポーツ指導者講演会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。今後においては、技術だけではなく、考え方や内面からのアドバイスができる指導方法が課題となっている。 ・種目別指導者講習会は、24種目中21種目を開催し昨年度と比較し200人増となった。 【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・市民スポーツ振興事業は、スポーツを行う市民等を支援する事業であり、市民スポーツの推進を図る上で必要であることから、継続して事業を実施する。 ・スポーツ指導者講演会及び講習会において、現在のスポーツを取り巻く課題や指導者として備えるべき知識等を検討し、考え方や内面からのアドバイスができる指導方法等をテーマとして実施する。		

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	1,122	1,731	2,284	2,565	
報償費	581	1,192	1,564	1,590	スポーツ振興激励金等
役務費	357	366	328	385	スポーツ指導者傷害保険
委託料	142	157	350	476	種目別指導者講習会等委託料
使用料及び賃借料	42	16	42	114	有料公園等施設使用料
人件費 B	4,353	5,174	4,369	4,993	
職員人工数	0.56	0.67	0.57	0.65	
職員人件費	4,353	5,174	4,369	4,993	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	5,475	6,905	6,653	7,558	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	5,475	6,905	6,653	7,558	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	スポーツ大会事業費	CA41	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	—		展開方向	01-4 スポーツに親しむ機会の充実
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 昭和20年度		
会計	01 一般会計			
款	50 教育費			
項	40 保健体育費			
目	15 社会体育費			
局	教育委員会事務局	課	スポーツ推進課	所属長名 山本 正巳

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	各種スポーツ大会の開催等を行い、市民が日頃の練習の成果を発揮する機会と場の確保を行う。
事業概要	各種スポーツ大会の開催及び運営等を行う。
実施内容	1 市民スポーツ祭…4月から9月の期間、野球、陸上競技等23種目のスポーツ大会の開催を行う。 (参加人数)16,285人 (委託先)尼崎市体育協会 2 市長旗・マスターズ選手権大会 (1) 市長旗大会…8月から3月の期間、野球、陸上競技等23種目のスポーツ大会の開催を行う。 (参加人数)13,747人 (2) マスターズ選手権大会…中高年を対象としたスポーツ大会の開催を行う。 (参加人数)3,735人 (委託先)尼崎市体育協会 3 兵庫県郡市区対抗駅伝競走大会…兵庫県郡市区対抗駅伝競走大会の運営等を行う。 (出場選手)26人 (大会結果)男子3部1位、女子2部14位 4 阪神地区都市対抗駅伝競走大会…阪神地区都市対抗駅伝競走大会の運営等を行う。 (出場選手)40人 (大会結果)男子A2位・B11位、女子A3位、B7位

②事業成果の点検

目標指標	市民スポーツ祭等の参加者数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	人
目標・実績	目標値	39,000	達成年度	令和9年度	令和2年度	24,911	令和3年度	26,160	令和4年度 33,833
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成) ・市民スポーツ祭は、24種目中2種目が中止し、22種目実施となったが、参加者は昨年度と比べ5,293人増加した。 ・市長旗選手権大会は、昨年度と比べ770人の増、マスターズ選手権大会は1,544人の増となった。 ・兵庫県郡市区対抗駅伝競走大会及び阪神地区都市対抗駅伝競走大会が、3年ぶりの開催となり、男女ともに好成績を残した。選手が実力を発揮することができるよう、特に練習場所の確保が重要である。 【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・スポーツ大会事業は、市民が日頃スポーツを練習している成果を発揮する機会となっており、競技スポーツや生涯スポーツ等の推進に必要となることから、継続して事業を実施する。 ・市報やホームページ等において、市主催のスポーツ大会に関する情報発信を充実させることにより、大会参加者数の増加を図る。 ・駅伝競走大会は、本市の選手が実力を発揮することができるよう、引き続き会場までの交通手段及び練習場所の確保を行う。								

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	6,343	7,747	9,214	10,012	
需用費	51	53	53	53	各種大会事業消耗品費等
役務費	7				
委託料	808	958	1,866	2,349	市民スポーツ祭事業等委託料
使用料及び賃借料	5,477	6,736	7,295	7,565	有料公園施設等使用料
負担金補助及び交付金				45	
人件費 B	2,176	2,625	1,303	999	
職員人工数	0.28	0.34	0.17	0.13	
職員人件費	2,176	2,625	1,303	999	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	8,519	10,372	10,517	11,011	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	8,519	10,372	10,517	11,011	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	学校開放事業費	CA4K	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	尼崎市立学校スポーツ施設の使用に関する規則		展開方向	01-4 スポーツに親しむ機会の充実	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度			昭和42年度
会計	01 一般会計				
款	50 教育費				
項	40 保健体育費				
目	15 社会体育費				
局	教育委員会事務局	課	スポーツ推進課、職員課	所属長名	山本 正巳、西川 欣伸

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	市立学校のスポーツ施設(グラウンド、体育館及び柔剣道場)を市民に開放することにより、市民スポーツや地域スポーツ活動の推進を図る。
事業概要	市立学校のスポーツ施設(グラウンド、体育館及び柔剣道場)を市民に開放する。
実施内容	1 学校開放運営事業、学校開放業務委託事業…学校スポーツ施設の開放のため、各学校に学校開放職員を配置し、受付業務や施設開放業務を行う。 (利用人数)小学校597,450人、中学校79,739人、定時制高等学校630人、特別支援学校3,625人、クラブハウス5,314人、地域運動会802人 (委託先)尼崎市シルバー人材センター及び学校開放運営委員会 2 学校開放維持管理事業…学校のスポーツ施設の維持管理のため、夜間照明設備等の修繕を行う。

②事業成果の点検

目標指標	学校開放利用者数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)								単位	人
目標・実績	目標値	690,000	達成年度	令和9年度	令和2年度	561,705	令和3年度	537,279	令和4年度	687,560
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成) ・学校スポーツ施設の利用者数は、小学校で昨年度と比べて12,469人、中学校で20,910人、特別支援学校で1,878人、クラブハウスで1,092人増加した。 ・R4年12月から定時制高等学校の開放事業が開始され、利用者数は630人であった。 ・学校開放運営委員会による地域運動会については、コロナの影響で21校中4校での開催実施にとどまり、参加者数は、802人であった。									
	【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・学校スポーツ施設の開放は、市民が身近な地域で気軽に運動やスポーツを行える場所となっていることから、継続して事業を実施する。 ・学校開放の更なる利用促進について、市立学校に協力を求めるとともに、学校開放運営委員会及びスポーツクラブ21を主体とする子ども向けイベント・プログラムの実施を促し、利用者の増加を図る。									

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	63,837	60,872	82,016	87,714	
報償費				4	
需用費	1,193	897	1,182	1,044	夜間照明設備修繕料等
役務費	30	29	30	30	夜間照明設備等火災保険加入経費
委託料	61,828	59,946	80,804	86,636	学校開放事業等委託料
その他	786				現場管理に対する謝金(1校)
人件費 B	8,205	4,710	4,752	5,454	
職員人工数	1.23	0.61	0.62	0.70	
職員人件費	8,205	4,710	4,752	5,454	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	72,042	65,582	86,768	93,168	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	72,042	65,582	86,768	93,168	

令和5年度事務事業シート(令和4年度決算)

事務事業名	体育協会等補助金	CA5K	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	—		展開方向	01-4 スポーツに親しむ機会の充実
事業分類	補助金・助成金	事業開始年度 昭和32年度		
会計	01 一般会計			
款	50 教育費			
項	40 保健体育費			
目	15 社会体育費			
局	教育委員会事務局	課	スポーツ推進課	所属長名 山本 正巳

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	尼崎市体育協会等に対して補助金を交付し、その活動を支援することにより、市民の健全な心身の発達と豊かな健康づくりを図る。
事業概要	尼崎市体育協会等に対して補助金の交付を行う。
実施内容	1 体育協会補助金…本市の競技スポーツ及び生涯スポーツの推進を担っている尼崎市体育協会に対して、補助金の交付を行う。 (加盟団体)27団体 (会員数)20,479人 (実績)1,405千円 2 レクリエーション協会補助金…本市のスポーツ・レクリエーション活動の推進に寄与している尼崎市レクリエーション協会に対して、補助金の交付を行う。 (加盟団体)6団体 (会員数)271人 (実績)250千円 3 スポーツ振興事業団…市と一体的に市の政策を推進していく団体に本市OB職員を幹旋し、その報酬等に対する補助金の交付を行う。 (人数)1名 (実績)8,498千円

②事業成果の点検

事業成果の指標										
目標指標	尼崎市体育協会等の会員数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	人	
目標・実績	目標値	24,338	達成年度	令和9年度	令和2年度	22,308	令和3年度	20,982	令和4年度	20,750
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成) ・体育協会等に対して補助金を交付し、スポーツ活動やレクリエーション活動を支援することにより、市民の健康づくりと競技力の向上等を図った。 ・レクリエーション協会の会員数は横ばいであった。また、体育協会の会員数は昨年度と比べて232人減少した。今後は、各協会の活動がより活発になるよう、会員数の増加を図る必要がある。									
	【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・各協会を支援することは、競技スポーツや生涯スポーツ等の推進につながることから、継続して事業を実施する。 ・市のスポーツイベントや各協会の取組みにおいて、連携・協力することにより、参加者の増加を図り市民スポーツの推進に取り組む。 ・市主催イベント等において各協会の活動内容等の広報を行うことで、市民への周知を図り、会員数の増加へつなげていく。									

③事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	(参考)令和5年度予算	備考
事業費 A	10,239	10,246	10,153	10,211	
負担金補助及び交付金	10,239	10,246	10,153	10,211	体育協会等補助金
人件費 B	463	2,625	7,305	11,061	
職員人工数	0.07	0.34	0.97	1.44	
職員人件費	463	2,625	7,305	11,061	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	10,702	12,871	17,458	21,272	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	10,702	12,871	17,458	21,272	

(このページは白紙です)